

# 付 属 資 料

## ケース記録

### 【A大学】

聞き取り日：2014年7月29日

#### (1) 大学の基本情報

##### 1. 大学の概要について（学部・学科、学生数、留年者数、就職率など）

1975（昭和 50）年に開学し、1988（昭和 63）年、現在の大学名に改称された。現在、工学部（機械工学科、電気電子情報工学科、応用化学科）、情報学部（情報工学科、情報ネットワーク・コミュニケーション学科、情報メディア学科）、創造工学部（自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、ホームエレクトロニクス開発学科）、応用バイオ科学部（応用バイオ科学科、栄養生命科学科）の4学部・11学科がある。また、2015（平成 27）年4月から新たに、看護学部・看護学科、工学部・臨床工学科が開設される予定である。

なお、学生数、留年者数・留年率、就職率は、以下の表に掲載した（インタビュー時の配布資料より作成）。

##### ①学生数（現在、1学年の定員数は1,085名）

学部名	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
工学部	1,317	1,353	1,373	1,393	1,423
情報学部	1,959	1,952	1,934	1,926	1,878
創造工学部	925	899	899	947	943
応用バイオ科学部	880	867	771	669	543
総計	5,081	5,071	4,977	4,935	4,787

##### ②留年者数・留年率

年次	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
1年次	10 / 0.46%	12 / 0.67%	15 / 1.09%	12 / 0.86%	10 / 0.70%
2年次	187 / 5.67%	174 / 6.97%	171 / 8.84%	174 / 9.03%	187 / 9.96%
3年次	50 / 4.43%	61 / 5.90%	37 / 4.12%	61 / 6.44%	50 / 5.30%
4年次	255 / 29.55%	269 / 29.64%	267 / 34.63%	269 / 40.21%	255 / 46.96%
総計	502 / 8.23%	516 / 8.97%	490 / 9.85%	516 / 10.46%	502 / 10.49%

##### ③就職率

	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
全学部	45.1%	93.0%	91.2%	84.1%	87.3%

注：平成26年度は、平成26年度7月15日現在

##### 2. 中退に関する担当部署について（学内での連携状況など）

教務課が学籍の所轄部署となっており、中退に関するデータ集計をおこなっている。学生支援に関しては、学生支援本部に含まれる、学生課、キャリア就職課、教務課の3課が連携し、おこなっている。

## (2) 中退者の傾向について

1. 貴大学の（年間おおよその）中退者数及び中退率の近況及び推移について
2. 中退者は増加／減少傾向にあるかどうか、またその背景について
3. 中退の経緯や理由（主要なもの）、中退の時期（何学年時、入学後何年経過後が多いかなど）、中退後の希望進路について

中退は、何らかの理由で学生本人が願出をする「退学」と、授業料未納による大学側からの「除籍」の2種類に区分される。近年、退学者数は4%前後、除籍者数は1%台で推移しており（除退合計は例年5%前後）、どちらも大きく変動する状況ではない。

学年別に退学者数を見ると、2年次と4年次がボリュームゾーンになっている。これには進級要件が関係している。2年終了段階で取得単位が50単位未満の場合、進級できず留め置かれる（「2年次留年制度」）。これはそれほど高いハードルとはいえないが、進級ができないと、どうしてもその後の経済的負担が高くなるため、その時点で「見切りをつけてしまう」傾向が見られる。また、大学進学に際し、保護者と「ストレート卒業」を約束していた場合、2年次の留年決定で、それが難しいことがわかると退学するケースも多い。4年次に関しては、必須科目である卒業研究に進むための必要単位が足りない場合、卒業研究未着手となり（「卒研の着手制度」）、それを機に退学に至るケースが多い。また、4年次での退学者の場合、卒業研究でメンタル面の問題を抱えてしまったなど、「単純な理由じゃない」ケースも多いかもしれない。前出の留年者数も、同様な理由で、2年次と4年次に高くなっている。

中退理由は、学業不振、経済的理由、健康上の理由、ミスマッチ・進路変更、その他の大きく5つに分類している。最も多い理由が、学業不振（全体の4割前後）であり、例年この傾向は変わらない。大学進学層の拡大を背景に、学力の二極化が生じており、基礎学力が身につけていないまま大学に進学し、授業についていけなくなるケースがここに含まれる。こうした状況に対応し、初年次教育や導入教育の強化、個別指導による支援の充実をおこなっているが、それでも学業不振による退学割合は低くならない状況にある。また、ミスマッチ・進路変更も2割台と、大きな割合を占めている。健康上の理由は、おもに精神的な理由であり、友人関係でこじれを起したり、ひきこもってしまうタイプがここに含まれる。

年度・月ごとの傾向に関しては、学生支援本部が、退学者に関する集計や出席管理を毎年、毎月おこなっているが、それぞれの年度・月ごとに大きな違いは見られない。ただし、2学期制のため、学期開始時期である4月と9月は多少傾向に違いはある。

なお、下表の退学の理由は、学生が提出した退学願いの退学理由欄の記述と、クラス担任との面談での結果をもとに集計している。しかし、中退の背景にはさまざまな要因が複合的に絡んでいるため、何が直接的な理由であり、根本的な問題なのかを見出すことは難しい。その例として、経済的負担が大きいため、昼夜アルバイトに励んでいたところ、大学に来る

ことができなくなり、学業不振に陥るケースなどが挙げられる。そのため、中退要因の解析をおこなってもはっきりとした結果はなかなか出てこない。

## ①中退者の推移

	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
在籍者数（人）	5,071	4,977	4,935	4,787
退学者数（人）	184; 3.6%	184; 3.7%	205; 4.2%	197; 4.1%
除籍者数（人）	68; 1.3%	62; 1.2%	81; 1.6%	46; 1.0%
除退合計（人）	252; 5.0%	246; 4.9%	286; 5.8%	243; 5.1%

## ②学年別退学者数

	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
1年次	27; 14.7%	38; 20.7%	44; 21.5%	41; 20.8%
2年次	95; 51.6%	95; 51.6%	108; 52.7%	99; 50.3%
3年次	28; 15.2%	16; 8.7%	16; 7.8%	20; 10.2%
4年次	31; 16.8%	35; 19.0%	37; 18.0%	37; 18.8%

## ③退学理由

	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
学業不振	73; 39.7%	73; 39.7%	94; 45.9%	69; 35.0%
経済的理由	25; 13.6%	21; 11.4%	20; 9.8%	37; 18.8%
健康上の理由	18; 9.8%	21; 11.4%	18; 8.8%	25; 12.7%
ミスマッチ・進路変更	45; 24.5%	48; 26.1%	53; 25.9%	54; 27.4%
その他	23; 12.5%	21; 11.4%	20; 9.8%	12; 6.1%

## ④退学理由の具体的内訳

学業不振	基礎学力不足のため授業についていけない。学習意欲の喪失。その他
経済的理由	保証人の失業、死去など経済的負担。留年による家計の負担の増加。その他
健康上の理由	精神的理由。身体的理由。その他
ミスマッチ・進路変更	他大学への進学、編入、あるいは専門学校への入学。他の大学、専門学校の受験準備。就職、またはその準備。その他
その他	大学になじめない。学業以外に熱中しすぎた。友人関係。理由がはっきりしない。死亡。その他

## 4. 中退する学生の特徴について（個人特性や過去の教育経験、留年者との違いなど）

## 5. 中退に関連した学生問題について（ひきこもり、不登校、学習意欲の低下など）

全国、47都道府県から学生が来ており、一人暮らしの学生も少なくないが、親元に住んでいるかどうかと中退はあまり関連があるとはいえない。大学の近くに住んでいても、朝起きられず、大学に行きづらい学生はいる。

また、適度なアルバイトであればいいが、1週間ずつなど、アルバイトが「本業」になってしまう学生で、学業不振となる場合もある。近年、1年生の時から卒業するまでずっと、アルバイトを続けている学生が増えているように感じられる。大学院に入学してからもアルバイトをしている学生もいる。おそらく、これまで大学に進学してこなかったような学力的、あるいは経済的な層の学生が増えたことが、これに関係している。

学業的な適応に関して、出身高校による違いは、最初の段階では普通科高校と専門高校でカリキュラムが異なるため多少あるが、最終的にはほとんどない。しかし、ミスマッチの面では、普通科高校出身の学生の方が大きく、明確な理由がなく「なんとなく」工学系に

進学してしまった場合、入学後に苦労したり、授業が面白くなくなることもある。

工学系の学科が多く、男子学生の割合が高いが、中退の理由は男女でそれほど変わらない。

## 6. 大学中退後、中退者に発生している、または発生が予想される問題などについて

中退者のその後を把握できていないため、どのような問題があるのかわからない。友達同士では連絡を取り合っているのだろうが、中退者とは、たいていの場合、音信不通になってしまう。

## 7. 貴大学の「中退」観について（支援の必要性の認識など）

中退者問題は大学にとって大変重要な問題のため、様々な観点から、「対症的に」取り組んできた。現在は、退学者問題実働委員会を立ち上げ、中退者に関して様々な分析をおこない、そこからどのような取り組みが必要となるかを議論している。当初中退問題自体は教育改革と結びつくものではなかったが、中退問題をより「根本的なところから見直すということになれば、そこ[教育改革]に手をつけなければ、なかなか抜本的な解決にはならないだろうという話になって」いる。

例えば、そこでの議論では、中退問題は、以前のように、対症的に解決できるものではなくっており、共通基盤教育や学期制の仕組みなど、より構造的なところから見直していく必要があるといった意見も出ている。学期制に関しては、クォーター制にすることで、必修である初年次科目での単位の取りこぼしを防ぎ、落とした場合でも、学生が期間を空けず再履修できるようにするかなどの議論がある。

さらに、学生への経済的支援に関しても、5年次以降の学生に対して授業料の減免をするかどうか、また個別のケアに関しても、現在のクラス担任制では教員に負担がかかるため、それに代わるかたちで、ケアの専門家によるサポート体制の充実が必要なのではないかということについて、コスト・ベネフィットを考えながら、どうしていくべきかという議論を始めている。現在検討中の対応策については、できることから、可及的速やかに実施していく予定である。

### （3）現在の支援状況について

#### 1. 学生が中退を希望する場合の手続き方法などについて

中退を引き止めるための「最終ハードル」は、クラス担任との面談となる。その面談が終了した段階で、教務課のほうで退学届けの書類を受理し、書類が受理されると、審議に移り、承認が下る流れとなる。クラス担任がすべての学生を引き止めるという訳ではなく、個別の事情を勘案し対応する。なかには、引止めを拒む保護者もいる。

経済的な問題や、トラブルを抱えているなどの理由で、どうしても大学に通えないことも

あるため、面談では、クラス担任と保護者、そして学生がよく相談し、総合的にどうするかを判断する。次の進路や就職を決め、面談に臨む学生もいるが、その場合も、その中身をよく見た上で、学生本人にとって何がベストな選択かを判断させるようにしている。そのため、クラス担任にとって、「アドバイザー」としての役割をすることも、仕事の1つとなる。

ちなみに、クラス担任によって印象は異なると思うが、次の進路（専門学校入学、家庭の事情で就職など）を決め面談に臨む学生は全体の3分の2程度であり、何も決まらないでやめる学生はあまりいない。中退後どうなるか心配な学生は少なく、生き生きしている学生もいる。その後の進路としては、専門学校に進学するケースが多く、アルバイト先に正規に就職するというケースも少なくない。

退学時点で、就職を希望する学生には、キャリア支援課と接触してもらうようにしている。

## 2. 中退が予想される学生の把握方法について

学生が入学してすぐに、プレースメントテスト（英語、数学、物理、化学、一部の学科で生物も）を実施している。その得点をもとにして、英語、物理、数学の導入系の科目で、習熟度別クラス編成をおこない、授業をスタートさせている。また、特に得点の低い学生に関しては、個別に連絡を取り、基礎教育支援センターのほうで個別指導を受けられるような体制をとっている。

また、学生が何か相談したいことがある場合、いくつかのルートを設けている。1つがクラス担任であり、もう1つが学生相談室である。何か問題があればクラス担任と学生相談室が「一緒に面倒をみていく」仕組みになっており、例えば、メンタル面で課題がある学生の場合、教員だけでは対処できないため、以前から、相談室の専門家と連携して対応している。

退学届けの書類を取りに来る以前の段階で、「退学の因子を持っているような子たちを、いかに早期に発見して、早期からケアをしていって、止めるという形じゃないと、わかった段階で止められるか」というと、「ほとんどない」という。

## 3. 中退が予想される学生に対する支援の内容及びその効果について（特に貴大学において実績をあげている、あるいは特徴的な取り組み）

一般入試で入学した学生と比べて、AO入試などで入学した学生で、一部の科目の授業についていけなくなり、学業不振に陥る場合が少し多いかもしれない。しかし、AO入試などで入学した学生で中退が多いとは言えない。AO入試などで入学した学生の中でも、学力には個人差があるし、むしろ進学時の意識が高い学生は多い。また、学業不振に陥る確率の高い学生に対しては、個別指導をおこない、フォローアップをしている。なお、AO入試による入学者割合は、学科によって異なるが、多いところでは3～4割を占める。

ミスマッチに関しては、その対策として、1、2年次までは、どの学科の学生でも、共通の一般教養系科目などを受講できるように、共通基盤教育をおこなっている。それにより、

専門分野に移行する段階でのミスマッチを減らし、他学科への転科がしやすいようにしている。ただし、かといって、転科をする学生が多くなる傾向はなく、入学時の学科に残る学生がほとんどである。

また、クラス担任制度によって、各学科の教員がクラス担任となり、教員1人当たり30人程度の学生を、1年次から受け持っている。クラスに不登校や遅刻気味の学生がいる場合、そうした学生に対して、モーニングコールをしたり、アパートまで行って生活状況を確認し、特に地方にいる保護者には報告をおこなったりする教員も見られる。学科によっては、クラス担任のほかに、アドバイザー制度を設けているところもある。また、今ほとんどの学科では、「よろず相談室」のような形で、学生が勉強出来るスペースを設けている。そこに学科の教員が常駐し、学生から質問を受けたり、宿題や課題のサポートをしたりしている。そうすることで学生が孤立しないような環境を作っている。

クラス担任制度については、3年次以降はクラスの規模が大きくなるが、1～2年次はなるべく小規模クラス（教員1人に対して学生10～15人程度）を設定し、徹底的に指導をし、ケアをおこなっている。出欠も細かく見ている。学生と教員との接触時間を長くし、距離を短くすることで、学生にとって「頼れる人」がいる状況を作ろうと意図している。そのため、専任講師が「総動員」でそれにあたっており、教員によって賛否はあると思われるが、「教員は割ともう、学生の面倒を見るのは当たり前だという」状況にある。クラス担任制度はもともと中退問題に特化して設けられたわけではなく、今と昔ではその内容も異なってきている。例えば、以前と比べ現在では教員が学生と接触する機会はかなり多くなっており、「だんだん高校のクラス担任に近いような状況まで、大学でそこまでやるかというところまで来ている」という。

さらに、授業への出席数をカウントし、個々の学生の出席状況を、日ごと、週ごとに、把握する試みもしている。そこから、例えば、3回連続で授業を欠席した場合には、クラス担任に情報が回り、個別に学生に連絡が行き、面談をする場合もある。早い段階でのミスマッチを解消し、「本学でやってみよう」と「立ち直る」きっかけをつくり、中退の早期予防をすることが、その目的である。こうした細かな出席状況の把握に対して、学内で「葛藤」もあったが、中退問題に対して早期対応をなるべくしたいという考えに至っている。

その他、学生の状況を確認するために、最近はLINEやSNSを利用して、一斉情報発信をしている。保護者に対しては、学生の出席状況を定期的に配信するサービスもあり、それに登録した保護者は、学生の出席情報を1週間ごとに電子メールで受け取ることができる。

#### 4. 大学（キャリアセンターなど）での中退者情報の共有・把握の有無について

キャリアセンターでは、就職活動がスタートした段階から学生の情報を把握するため、中退者に関する情報は把握していない。退学者や除籍者の情報は、教務課や各学科の教員がおもに把握している。

## 5. 中退者に対する退学後の就職支援の内容及びその効果について

### 6. 中退者に対する就職支援が必要と考えられる時期について（中退後直ちに、一定期間後など）

中退するまでのサポートはおこなっているが、中退後についてまでは対応できていない。これまで中退者に対してどのようなサポートをするのかという観点から大学側には欠けていたため、今後ハローワークなどと連携することで、何らかの対応は出来るかもしれない。そのかわり、中退した学生は母校の高校に相談に行くケースが多いのではないかと考えられる。

また、退学後に、何かの相談で中退した学生が相談に来ることはほとんどない。ただし、再入学の制度があるため、例えば、経済的な理由で退学した学生で、再入学する場合もある。その場合、入試課や元クラス担任の教員に相談に来て、再入学の準備、もしくはその手続きをとるケースもある。

中退者に対する就職支援として、クラス担任が知り合いの企業を紹介したり、クラブの顧問や監督が次の進路を紹介し、就職させる例は、「レアケース」かもしれないがある。ただし、それは大学全体としての取り組みとしてではなく、「個々の教員の努力」による。

### 7. 中退に関する行政や外部機関との連携状況について（連携先及び連携内容など）

中退希望者に対して、ハローワークなど公的支援機関を紹介することは、特にしてこなかった。地方にUターンする学生で、地元のハローワークを利用するケースはあると思われるが。ちなみに、中退後、地元に戻る学生はそれほど多くなく、戻るケースは女性に多いと考えられる。また、ジョブサポーターの活用はおこなっておらず、学内でのキャリアセンター相談員による学生支援が主である。

#### （4）今後の課題など

##### 1. 中退防止、支援対策について困難な点や今後の課題など

##### 2. 今後中退が予想される者あるいは中退者に対して実施を予定している支援について

現在、中退者数の3割減を目標に対策の充実を図ろうと考えている。学業不振、経済的理由、ミスマッチが中退理由全体の7～8割を占めているため、これら3要因に対処することで、中退者3割減の達成は可能だと考えている。具体的な対策案は目下検討中である。

また、ミスマッチに関して、それは高校時点での進路選択とも関連する問題である。そのため、高校とも連携し、高校のキャリア支援の充実化をはかることで、より早期からミスマッチ対策をおこなえるのではないかと考えている。高校との連携は毎年の課題であり、県下の高校を中心に連携校を増やし、やり取りしている。毎年5月には、指定校である高校の先生方を呼んで、学内で説明会を開いている。それ以外にも、関東甲信越や東海地方を中心に各県1名ずつ、進学アドバイザーがいるため、彼らに各県ごとの在学生の状況を送り、そこ

からそれぞれの学生の母校の方にその情報を伝えている。進学アドバイザーの先生とは学生の現状について直接情報交換をする機会もあり、中退者に関する情報など把握していると思われる。

**【B大学】**

聞き取り日：2014年8月5日

**(1) 大学の基本情報****1. 大学の概要について（学部・学科、学生数、留年者数、就職率など）**

平成10年に開学。教育学部（教育福祉学科、英語教育学科）、人間科学部（人間心理学科、経営学科、ビジネス行動学科）、保健医療学部（看護学科）がある。キャンパスは、自宅通学が中心の〇〇キャンパスと、下宿が中心の△△キャンパスの2つである。入試方法としては、看護を除くと、AOと推薦で過半数を占める。

初年次教育のユニットとして、アドバイザーという専任教員の担任制度があり、1人当たり15～20名程度の学生を担当することになっている。入学当初から1年間は同じアドバイザーであり、そのあとはゼミ指導教員がアドバイザーとなる。

**2. 中退に関する担当部署について（学内での連携状況など）**

文科省の大学間連携共同教育推進事業の助成を受け、学生支援型IR（Institutional Research）を進めることを通じて、データに基づいた様々な教育活動を全学的に行っている。中退者を減少させるための支援もその一つである。

**(2) 中退者の傾向について****1. 貴大学の（年間およその）中退者数及び中退率の近況及び推移について****2. 中退者は増加／減少傾向にあるかどうか、またその背景について**

学科によって中退率が異なる。目的が明確な教育学部や看護系は低い。

中退に対しては、これまで初年次教育で対応してきたが、アドバイザーとの個人面談が少なかったため、アドバイザーとの面談準備シートを作成し強化したところ、中退率が3分の1に急減した。初年次教育に加えて、学生個人のモニタリングを併せて行うことが効果的であった。また、すぐに中退させないでいったん休学に持っていくなど、冷却期間を設けることも効果がある。

**3. 中退の経緯や理由（主要なもの）、中退の時期（何学年時、入学後何年経過後が多いかなど）、中退後の希望進路について**

中退は主として1年次が多い。退学等の理由は、進路変更・進路再考、経済的困窮、学習意欲の低下、心身疾患、の順に多い。

経済的困窮については、JASSO奨学金受給と中退との関連を見るとあまり相関は強くない。

学生の中にはいわゆるファースト・ジェネレーション(家族で初めて高等教育を受ける学生)がおり、保護者も学生も、学費に困窮した際の色々な制度の情報を知らない可能性が推測される。

ただし学科によって退学理由には違いがあり、学業不振が中心の学科と、進路変更等が多い学科が存在する。ある学科は体育会系の学生が多く入学してくるため、「進路変更」「退部」が理由として多く、英語で授業を行う学科では、学業についていけないという理由が多くを占める。パーソナルな支援と、ターゲットを絞るサポートを組み合わせることが必要だと感じている。

#### 4. 中退する学生の特徴について（個人特性や過去の教育経験、留年者との違いなど）

入学時に「日本語運用能力テスト」「論理思考テスト」を自前で実施しているが、入学者全体よりも、退学・除籍者の得点がやや低い傾向が見られる。

ただし退学・除籍により影響があるのは、1年終了時のGPA（Grade Point Average）である。1年生の最初の学期は不問にするが、1年の後期から、GPAが1学期1.0を割った段階でアドバイザーから注意があり、2学期目の終わりには保護者と本人に厳重注意、3学期続いたら退学勧告をすることになっている（実際の対応としては、必修のゼミ科目を取らせないで留年をさせることになっている）。退学勧告で辞めるのは数人である。

#### 5. 中退に関連した学生問題について（ひきこもり、不登校、学習意欲の低下など）

ユニバーサル化に伴う多様な学生の受け入れのために、学習支援センターやアドバイザー制度など、学生への学習支援体制の整備を進めている。アドバイザーは、履修指導、学習目標の明確化、学業不振への対策方法など、個別に指導助言を行う。

また、入学前教育としてウォーミングアップ学習、センターオフィスアワー（専任教員によるアクティブラーニング室での学習支援）、欠席調査（後述）、センタープログラム（基礎的な学習）等、様々な教育機会を学生に提供している。

学生間、学生と教員間で自由に話せる場づくりのひとつとして、ラーニングコモンズや研究室を出たところに学生の勉強するスペースを作り、教員と学生の距離を近くしている。

#### 6. 大学中退後、中退者に発生している、または発生が予想される問題などについて

「ふわっと」中退する学生がいる。就職といっても、アルバイト先にそのまま就職したり、またはアルバイトでいいやと思っていることもある。世の中のことがあまり見えていないのか、あまり切羽詰っておらず、自信満々なこともある。アドバイザーがキャリアサポート室に行きなさいといっても、なかなか行かない。

自分が何に向いているのかについて考えることがなく、また中退することが自分の将来に大きなリスクをもたらすということについて無自覚な学生が多いように感じる。

## 7. 貴大学の「中退」観について（支援の必要性の認識など）

卒業しても中退しても、一度大学に籍を置いた学生には支援する。中退しても、面接の練習や履歴書の書き方について尋ねてくる元学生もいる。

### （3）現在の支援状況について

#### 1. 学生が中退を希望する場合の手続き方法などについて

かつては中退の際には、教務に退学願いを提出し、それを審査するという手続きであったが、退学願いの提出先をアドバイザーと呼ばれる担任の先生（大学教員）に提出し、さらに学部長が面談をするという手続きに変更した。アドバイザーからキャリアサポート室に連絡があり、フォローを頼まれることもある。

ただし、上述したように、本人が中退することの社会的な不利を認識していないので、中退をする段階では支援を受ける必要性を感じていない中退者がほとんどである。厳しい現実を把握していない中退者を無理にキャリアサポート室につなげても、きちんと話を聞かないだろうと予想している。

#### 2. 中退が予想される学生の把握方法について

各学期の授業開始から3－4週間経過した時点で、すべての科目担当者に対して欠席者の調査を実施し、多欠席の者にはアドバイザーから個別指導を行う。

#### 3. 中退が予想される学生に対する支援の内容及びその効果について（特に貴大学において実績をあげている、あるいは特徴的な取り組み）

リテンション（学業継続）対策プロジェクトを立ち上げ、学習意欲・成績低下、生活習慣、教育プログラムへの不適応、メンタル、経済的要因、転出、クラブなど8項目の要因に分類し、対応部局を決定し、改善に努めている。

また休学や転学科・転専攻などのチャンネルを開くなどしている。

#### 4. 中退に関する行政や外部機関との連携状況について（連携先及び連携内容など）

中退理由を聞いたうえで、必要な場合にはサポステやハローワークを紹介しているが、公的な支援機関はもっと気軽に学生が行きやすいような工夫（ワンストップ化等）をするとよいのではないかと。またその際には、自分の適性が分かっていないので、適性検査のようなツールが必要ではないかと。

#### (4) 今後の課題など

中退の背景には、大学教育で教えるべきスタンダードが喪失したこと、高校の履修主義、高校のカリキュラムの枝分かれの早さなどの高校教育の質保証における課題が存在すると考えている。大学としては、中退させた大学ではなくて、中退者を受け入れようとする大学とつなぐことはできると思うが、中退した大学が斡旋の世話をするのは現実的ではないように思う。

**【C 専門学校】**

聞き取り日：2014年8月6日

**(1) 学校の基本情報****1. 学校の概要について（学部・学科、学生数、留年者数、就職率など）**

1996（平成8）年、「実学教育」「人間教育」「国際教育」を建学の理念に掲げ、開校した。現在、介護福祉士科（2年制）、社会福祉士科（3年制）、こども福祉科（3年制）、介護福祉士科Ⅱ部（3年制／夜間課程）、社会福祉士養成科（1年制／夜間課程）、キャリアデザイン・コミュニケーション科（1年制）、こども福祉科Ⅱ部（3年制／夜間課程）の7学科がある。

全学生数は700名を超える。学生のほとんどが学校所在県の出身者のため、実家から通う学生が多い。地方出身の学生で寮暮らしの者もいるが、1割程度と少数である。

就職率については、例年、就職希望者の100%が就職できている。また、そのうち学校で学んだ分野（福祉・医療・保育）の仕事に就いた卒業生の割合は、99.1%になる（平成25年3月卒業者）。そのほとんどが学校所在県内あるいは出身県内での就職である（同年度の地元就職率は97.7%）。福祉系の学科の場合、教員のネットワークを活用した就職が多い。

**2. 中退に関する担当部署について（学内での連携状況など）**

各学科にクラス担任を設けており、もし学生が中退を希望する場合、まずクラス担任に相談するケースが圧倒的に多い。面談後、クラス担任が、教務全体のとりまとめをおこなっている教務部長に相談を持ちかけ、そこから担任、学科長、教務部長の3者で協議をし、その学生に対する支援をスタートさせる。

また、支援としては、中退の原因となる下記の要因別に対策を考えるようにしている。そのため、「学生がやめたいというときの原因がまずはっきりすれば、その原因を取り除くというか、解決するところからスタートする」ようにしている。その際、教務部の職員だけでなく、学生相談室の相談員など、色々な人がその学生に関わるようにし、学生の個別背景をできるだけ知った上で支援をおこなうようにしている。

中退希望者である学生との面談では、必ず保護者に同席をお願いしている。中退に対する保護者の対応は様々であるが、近年は家庭環境に課題のある学生が増えている印象があり、面談には参加するが子どもとの関係があまりよくないケースも多々見受けられる。また、面談で、中退をとめない保護者も多く、そもそも面談への参加を拒否する保護者もいる。最近では、「判断は子どもに任せているので、書類だけください」という保護者もやや増えている。

## (2) 中退者の傾向について

### 1. 貴校の（年間おおよその）中退者数及び中退率の近況及び推移について

### 2. 中退者は増加／減少傾向にあるかどうか、またその背景について

中退者率の推移を見ると、平成19年度以前では4%台であったが、その後、平成20年で2.7%、平成22年で2.4%、平成24年で1.5%と、3%を下回るようになっている。

### 3. 中退の経緯や理由（主要なもの）、中退の時期（何学年時、入学後何年経過後が多いかなど）、中退後の希望進路について

### 4. 中退に関連した学生問題について（ひきこもり、不登校、学習意欲の低下など）

おもな中退理由としては、目標設定不足、集団不適應、学力不足、精神疾患、家庭問題、経済的な問題、身体的な病気、妊娠・出産が挙げられる。ただし、ひとりの学生が複数の要因を持っている場合も多い。

最も多いのが、目標設定不足であり、目標が途中で変わってしまったというケースが圧倒的である。中退の時期は1年次が圧倒的だが、そのうちの多くが目標設定不足を理由としたケースである。例えば、当初は介護福祉士を目指し入学したが、実際に授業が始まり、実習に参加したところ、イメージしていた内容とは大きく違っていたため、目標意識が低下し、それ以上の在学継続を望まないケースがその一つである。こうした理由で中退するケースは、全体の6割程度に及ぶ。

次に多いのが、集団不適應であり、クラスに馴染めず、仲間はずれになり、登校できなくなるケースがここに含まれる。この場合、欠席日数が増えてくるため、それに気づいたクラス担任から「最近おかしいですね」ということで、学生に連絡が行き、面談の機会が設けられることになる。なお、生活習慣の乱れという要因は、集団不適應、あるいは次に見る精神疾患に分類される。例えば、昼夜逆転生活により病院に行くことになったケースや、食生活の乱れから、イライラが治まらず、クラスで孤立してしまったケースなどがこれに当たる。生活習慣の乱れが直接的な中退原因になるというよりも、それによって引き起こされた要因が中退に結びついていると考えられる。

つづいて多い理由が、学力不足や精神疾患である。精神疾患には発達障害も含まれる。もともとそうした疾患を抱え入学する学生もいるし、入学後に発症する学生もいる。この場合、長期休学を余儀なくされるため、在籍の継続が難しくなる。

ここ数年での変化としては、中退の理由となる背景が、以前は単純であったが、去年、一昨年あたりから、複数の要因が絡み合うようになっていることが挙げられる。例えば、目標設定不足の背後に、発達障害が関係しているケースである。またそれに、奨学金は借用可能

だが、すでに借金があるため、他の教育ローンを借りることができないなどの家庭の貧困が絡んでいるケースや、しかもそれが生活保護を貰っている母子家庭で、母親が病気を患っており、学生本人は精神障害で病院に通院しているといったケースも見られる。このように中退の背景要因が複雑化した状況があり、それに見合った支援体制を作っていく必要性を強く感じている。

## 5. 中退する学生の特徴について（個人特性や過去の教育経験、留年者との違いなど）

入試形態による、中退者割合の差はそれほど大きくない。ちなみに、全入学者（社会人入学を含む）を入学形態別に見ると、AO入試が4割、指定校推薦が1割、一般入試が5割程度となる。高卒すぐの入学に限定すると、AO入試による入学者割合はさらに高い。

他の学校を中退、あるいは大学を卒業し、こちらの学校に入学してくる学生は、介護福祉士科Ⅱ部や子供福祉科Ⅱ部など、夜間課程に多い。その数は毎年5、6人程度であり、年度による変動が大きい。年齢としては、20代から30代前半が多いが、介護系では50～60代で入学する者もいる。しっかりとした目的意識を持っている方もいる一方で、過去に職場不適應を起こし、学校に入りなおしてきたケースもあるなど、「なかなかポジティブなイメージを今の学科で持つことができずに、次失敗したらどうしようという気持ちがどうしても振り切れないという弱さを抱えながら勉強を続けている方」も少なからずいる。しかし、そうした学生でも大方中退をせずに、卒業までたどり着いている。

全学生のうち約半数が、日本育英会の奨学金を借りているが、奨学金の関係で中退する学生はかなりいる。中退後の奨学金返済の厳しさを意識した上で、中退する学生はほとんどいない。そうした状況もあり、キャリアデザイン・コミュニケーション科では、マネー教育を導入し、学生の将来設計と絡めて、奨学金返済についてなど取り上げている。なお、奨学金に関する対応は学生サービス課がおこなっており、奨学金の停止と返済プランを立てるところまでは指導している。

## 6. 学校中退後、中退者に発生している、または発生が予想される問題などについて

### 7. 貴校の「中退」観について（支援の必要性の認識など）

学校としては中退者のその後について把握できておらず、中退者に対する支援は難しいと言える。ただし、特に精神疾患や発達に問題がある中退した学生に関しては、学生相談室の職員が、何とか自立するまでは面倒を見ようという責任感から個人的にその後も追跡をしている。本来であれば、中退後に学校からの支援は出来ないのだが、精神疾患、発達障害などをもつ中退者に対しては、今後どうしていくか相談にのるようにしている。例えば、数年前に夜間課程を、統合失調症を理由に中退した学生がいるが、その保護者とは話し合いを重ね、

次の進路として新しい学校に入り直すことが決定している。

### (3) 現在の支援状況について

1. 学生が中退を希望する場合の手続き方法などについて
2. 中退が予想される学生の把握方法について
3. 中退が予想される学生に対する支援の内容及びその効果について（特に貴校において実績をあげている、あるいは特徴的な取り組み）

まず、クラス単位では、クラスの担任に、全体指導として、学校を卒業することの意義や中退することのリスクについてなどは、話してもらっている。

加えて、中退者率が減少してきた時期からという訳ではないが、学生相談室での取り組みに力を入れている。学生相談室では、特に学生のメンタル面に関する相談に対応している。目的意識が低下し、途中で学業継続が難しくなっている学生への対応もしている。学生相談（面談）は、完全予約制で、その利用が本人以外の担任や同級生に知られることはない。また、カウンセリングは、専門のカウンセラー（臨床心理士）と学生の1対1でおこなわれている。というのも、中退は学生の個別の背景に起因するケースが多く、個別の背景を丁寧に見ていかなければ、中退を抑制することはできないため、1対1のカウンセリングが効果的だからである。学生の生活全般に関わる、そうした手厚い個別支援の結果、例えば、学生相談室が受け持つ場合が最も多い、精神疾患や発達障害の学生では、中退をするケースはほとんどない。

ちなみに、カウンセリングでは、目標設定不足で中退を希望する学生に対しては、目標についてしっかり話し合うところからスタートしている。目標設定不足の学生に対しては、一度キャリアデザイン・コミュニケーション科（1年制）に移ってもらうようにしている。もともと国家資格取得を目標とした学科が多いため、一度ある学科に入学すると学科変更は本来的には難しいのだが、目標設定不足でキャリアデザイン・コミュニケーション科に移った学生に関しては、目標を設定し直した結果として、もとの学科に戻る事が出来るようにもしている。また、進路変更も積極的に勧めており、場合によっては、以前とは別の進路に変更してしまうケースもある。実例として、保育の学科（子ども福祉学科）に入学した学生が、他の学科に移りたいということで、介護系の夜間の学科に移ったケースが挙げられる。

相談内容によっては、カウンセリングではなく、カウンセラー以外の者が対応する場合がある。例えば、心理的な問題ではなく、「一人暮らしで寂しいから、相談相手がほしい」という相談であった場合は、学校の警備員や清掃員の方々に頼み、そうした学生に声かけをってもらうようにしている。そうしたケースも、これまで1、2件あった。

なお、学校を運営する学園（学校法人）全体でも、10年以上前から、カウンセリングの導入に力を入れており、臨床心理士の配置も常勤、非常勤ともに進んでいる。学園全体のカウンセラーの取りまとめをおこなう、トータルサポートセンターが本部に設けられており、そこでサポートアンケートを実施したり、そこから学生相談に関する情報を発信しその周知を図るなどしている。

#### 4. 学校（キャリアセンターなど）での中退者情報の共有・把握の有無について

#### 5. 中退者に対する退学後の就職支援の内容及びその効果について

#### 6. 中退者に対する就職支援が必要と考えられる時期について（中退後直ちに、一定期間後など）

中退希望者に対して、就職の斡旋などはしていないが、学生の将来像がはっきりしているかを確認し、中退を許可するかどうかの目安としている。例えば、3年課程の2年目で中退を希望する学生に対しては、学校側から、中退後どうするかを確認する。その際、臨床心理士も加わる場合もあれば、教務部長のみで判断する場合もある。

中退後の仕事などが決まっている学生の場合は良いが、将来展望がないまま中退を希望する学生に対しては、できるだけ思いとどまらせるようにしている。また、特に、アルバイトをしておらず、学校も欠席しており、まったく先が見えていないが、とにかくやめたいという学生には、中退後にひきこもるリスクがあるため、キャリアデザイン・コミュニケーション科に移るよう勧める場合もある。

なお、就職支援に関しては、キャリアセンターの部署が担当しており、福祉系の就職はそこが窓口となっている。就職支援の流れとしては、まずキャリアセンターが主導し学生指導を実施、ガイダンス等を開催している。ガイダンスでは、例えば、保育の分野といっても仕事の種別は多様であるため、学生がどういったところに勤めたいかを確認する作業からはじめ、その後学生が希望する仕事条件（勤務日数、勤務地、給料など）に合った企業をマッチングさせていく。

出席日数や取得単位数などを条件に、卒業見込みが明確になった学生から、就職支援を始めることになる。留年の可能性がある場合は、就職支援は延期する。また、卒業見込みではあるが、日頃に態度が良くない学生については、希望通りの就職が難しいため、学校側から理解のある施設を見つけ、そこに行ってもらおう等の配慮をしている。

#### 7. 中退に関する行政や外部機関との連携状況について（連携先及び連携内容など）

中退希望者の中で、引きこもるリスクの高い学生への支援が最も難しいが、その場合、中退後に地域若者サポートステーションにつなげることが多い。そちらにも、臨床心理士の方

がいたので、中退後の相談業務や適職診断を引き継いでもらっている。3～4年前に初めてそうした試みをおこない、以後連携関係は続いている。以前はこの学校の社会福祉士養成科の卒業生が、引き受け先であるサポートステーションで、相談員として、働いていたこともあった。それ以外にも、直接、支援機関にお願いしたこともある。

また、中退者に関してではないが、以前からハローワークの担当者と連携をしており、キャリアデザイン・コミュニケーション科の学生を中心にハローワークに紹介をしている。ハローワークの担当者に直接学校に来てもらい、学生に指導をしてもらうなどもしている。例年5月頃に、この学科の学生の中から、本人の希望により一般就労したいという学生を集め、ハローワークのほうで求人登録をしてもらい、就職活動をスタートさせる流れを組んでいる。なかなか動き始めるのが遅い学生もいるが、9月を過ぎた時点で、さらに、個別の支援をスタートさせている。

#### (4) 今後の課題など

1. 中退防止、支援対策について困難な点や今後の課題など
2. 今後中退が予想される者あるいは中退者に対して実施を予定している支援について

現在、学校全体としては、職業人教育の一環として、社会人基礎力養成などをベースとした、キャリア教育の取り組みを高めている。特に、学校側としては、卒業生の離職率に注目しており、キャリア教育の観点から、3年以内の早期離職を抑えるための対策を考えている。介護や保育の分野では離職率は高く、学校が実施した卒業生の追跡調査からも、卒業生のうち、数十人程度が1年以内に離職しているという結果が出ているためである。

また、キャリア教育の内容としては、規律教育に特徴があり、学生が挨拶、掃除、仕事上のマナーなど、働く上での基礎を見につけ、学生段階から職場で働くのと同じ意識を持って行動ができるように指導している。

その他、学生の実習先や卒業生の就職先からは、例えば、高齢者福祉施設で、高齢者と関わる中で必要となる、一般常識レベルの学力や「オープンな姿勢」を、学生に見につけるよう指導してほしいとの要望もあり、それにどのように取り組むか検討している。

#### (5) その他

##### キャリアデザイン・コミュニケーション科について

キャリアデザイン・コミュニケーション科は、定員40名程度であり、その半分が新規高卒者、残りの半分が他学科から転科の学生となっている。当学科では、福祉、健康、食、美

容など、幅広い領域の授業を受けることができる。年 800 時間、51 単位以上の授業を学生が受講できるように、カリキュラムを組んでいる。また、資格取得も可能であり、例えば、介護職員初任者研修の資格は、今後、介護福祉科などで介護研修に行く場合や仕事でも生かすことができる。学生の将来につながる、民間の資格取得をどのように組み込むことができるかを重視し、カリキュラムの組み直しをこれまでおこなってきた。その際、ハローワークにヒアリングをおこない、どのような資格を組み込むかの参考にしている。

キャリアデザイン・コミュニケーション科は、当初、高校卒業後すぐに、明確な進路意識を持たないまま進学してしまった学生の「受け皿」となることを目的に、立ち上げられた学科である。実際に立ち上げたところ、通信制サポート校などの教員から問い合わせが多く寄せられ、発達障害など、進学はしたいが、なかなか受け入れてもらえない学生が多く通ってきている。近年、通信制サポート校からの入学者は多くなる傾向にある。また、彼らの一部は、学力不足であったり、登校習慣がないこともあり、支援の必要性がある。学力不足に関しては、不登校経験などで、小学校レベルで学力がとまっているため、A4で1枚程度の実習レポートが書けなかったり、日本語の「てにをは」がまったくできないケースもいくつか見られる。

このように支援の必要性が高い面もあるが、通信制サポート校（高校）時代には、あまり学校に通っていなかったという学生であっても、この学科であれば登校できるというケースも多々見られる。その要因としては、授業時間数を少なくし、少人数クラス（1クラス 20人程度）を設定していることや、授業の担当講師として様々な専門資格を有する講師を呼び、学生との相互のやり取りの機会を多くとり、学生にとって「負担とかプレッシャーが少ないような形の授業展開」なるよう工夫していることなどが考えられる。この学科からはほとんど中退者は出ておらず、もし1年間通いきれそうにない場合、半期休学をし、その後復学してもらするなど、学生の状況に合わせて柔軟に対応している。

学生の就職先についてはかなり幅広く考えている。例えば、発達障害や知的障害の学生の場合、就労移行支援施設を紹介することもある。また、学生を一般就労と結びつけるために、（新卒応援）ハローワークや地域若者サポートステーションを利用するよう促すこともある。

キャリアデザイン・コミュニケーション科が立ち上げられる前から、社会福祉士科や子ども福祉科では、知的障害などを理由に資格取得が困難な学生がいたため、そうした学生が卒業だけはできるよう、学校責任者と交渉し、卒業後は就労移行支援施設（以前の「作業所」）で一定期間働いてもらうことをしていた。また、精神疾患の学生の場合は、医療機関から紹介状をもらい、卒業後に、デイケアを受けながら、作業所で働いたり、相談を受けながら社会復帰を目指したりできるような仕組みづくりをこれまでしてきた。この仕組みづくりの過程で、モデルとしたケースは少なく、独自に試行錯誤し、作り上げてきた。

大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査(基礎集計表)

		全体		性別		学校種別				
				男性	女性	専門学校	短大・高専	大学	大学院	
有効回答数 (N)		1095		672	417	146	97	758	49	
		人数	%	%		%				
問1 ハローワークを利用しようと思ったのは、いつ頃ですか。又、どのようなきっかけでそう思いましたか。	利用しようと思った時期	中退する前	183	16.7	17.1	16.1	18.5	13.4	15.8	32.7
		中退したあと	900	82.2	81.7	83.2	80.1	84.5	83.2	65.3
		無回答	12	1.1	1.2	0.7	1.4	2.1	0.9	2.0
		N	900		549	347	117	82	631	32
	中退後利用しようと思うまでの期間(中退したあとに利用しようと思った人のみ)	1か月未満	153	17.0	18.4	14.7	35.0	14.6	13.9	18.8
		1～6か月	179	19.9	20.9	18.2	22.2	19.5	18.4	21.9
		7か月～1年	95	10.6	9.5	12.1	13.7	8.5	11.1	6.3
		1年～1年半	44	4.9	5.3	4.3	3.4	6.1	4.6	15.6
		1年半～2年	90	10.0	10.4	9.5	1.7	9.8	11.9	6.3
		2年～2年半	20	2.2	2.4	2.0	2.6	2.4	2.1	6.3
		2年半～3年	37	4.1	3.3	5.5	4.3	2.4	4.3	0.0
		3～5年	83	9.2	10.6	7.2	4.3	7.3	10.3	9.4
		5～10年	63	7.0	6.7	7.2	0.9	9.8	7.8	12.5
		10年以上	31	3.4	3.5	3.5	0.0	7.3	4.0	0.0
		無回答	105	11.7	9.1	15.9	12.0	12.2	11.7	3.1
	N	1095		672	417	146	97	758	49	
きっかけ	ホームページ	103	9.4	11.3	6.2	6.8	0.0	10.2	24.5	
	親	532	48.6	47.9	49.9	61.6	50.5	46.7	32.7	
	友人	198	18.1	18.8	17.3	15.8	20.6	18.6	16.3	
	学校	29	2.6	2.5	2.9	3.4	2.1	2.1	8.2	
	その他(親族)	20	1.8	1.3	2.4	2.1	2.1	1.7	2.0	
	その他(仕事を探そうと思った)	41	3.7	4.5	2.6	4.1	2.1	3.8	2.0	
	その他(離職・退職・失業)	32	2.9	2.1	4.3	0.7	6.2	3.2	2.0	
	その他(失業保険・職業訓練)	23	2.1	0.6	4.6	0.0	7.2	2.0	2.0	
	その他(サポステ)	6	0.5	0.6	0.5	0.0	1.0	0.4	0.0	
	その他(他の支援機関)	15	1.4	1.6	1.0	0.0	1.0	1.3	6.1	
	その他(それ以外)	40	3.7	4.0	3.1	2.1	3.1	4.2	0.0	
		その他(無回答・不明)	27	2.5	2.7	2.2	2.1	2.1	2.8	0.0
	無回答	29	2.6	2.1	3.1	1.4	2.1	3.0	4.1	
求職登録した時期(現時点から)	1か月以内	410	37.4	37.5	37.4	41.1	40.2	36.0	38.8	
	2～3か月前	191	17.4	17.6	17.3	9.6	14.4	18.7	26.5	
	4か月～半年前	100	9.1	9.2	8.9	11.6	9.3	8.8	8.2	
	半年～1年前	95	8.7	8.0	9.8	9.6	11.3	7.8	12.2	
	1年以上前	265	24.2	24.9	23.3	23.3	24.7	25.3	10.2	
		無回答	34	3.1	2.8	3.4	4.8	0.0	3.3	4.1
問2 ハローワークのほかに、どのような方法で仕事を探していますか。(複数回答)	求人広告・雑誌を見る	非選択	358	32.7	35.6	28.5	27.4	27.8	33.1	49.0
		選択	687	62.7	59.1	68.6	70.5	70.1	61.2	46.9
		無回答	50	4.6	5.4	2.9	2.1	2.1	5.7	4.1
	求人情報サイトを見る	非選択	244	22.3	22.9	21.3	28.1	25.8	21.1	12.2
		選択	801	73.2	71.7	75.8	69.9	72.2	73.2	83.7
		無回答	50	4.6	5.4	2.9	2.1	2.1	5.7	4.1
	家族や友人・知人に紹介を頼む	非選択	875	79.9	76.8	85.4	84.2	80.4	78.2	89.8
		選択	170	15.5	17.9	11.8	13.7	17.5	16.1	6.1
		無回答	50	4.6	5.4	2.9	2.1	2.1	5.7	4.1
	民間の職業紹介会社に登録する	非選択	973	88.9	87.2	91.8	94.5	92.8	87.5	77.6
		選択	72	6.6	7.4	5.3	3.4	5.2	6.9	18.4
		無回答	50	4.6	5.4	2.9	2.1	2.1	5.7	4.1
派遣会社に登録する	非選択	913	83.4	86.0	79.6	85.6	82.5	82.8	85.7	
	選択	132	12.1	8.6	17.5	12.3	15.5	11.5	10.2	
	無回答	50	4.6	5.4	2.9	2.1	2.1	5.7	4.1	
その他	非選択	1020	93.2	91.7	95.9	95.9	96.9	92.0	91.8	
	選択	25	2.3	3.0	1.2	2.1	1.0	2.4	4.1	
	無回答	50	4.6	5.4	2.9	2.1	2.1	5.7	4.1	
問3 これまで、何社ぐらいの企業で採用面接を受けましたか	なし	294	26.8	27.7	25.9	28.8	26.8	26.6	20.4	
	1～5社	518	47.3	46.4	48.7	48.6	41.2	47.8	49.0	
	6～10社	136	12.4	13.1	11.3	8.2	10.3	13.6	12.2	
	11～30社	64	5.8	6.8	4.3	4.8	9.3	5.0	16.3	
	30社以上	21	1.9	2.4	1.2	1.4	1.0	2.2	2.0	
		無回答	62	5.7	3.6	8.6	8.2	11.3	4.7	0.0

大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査(基礎集計表)

有効回答数 (N)			全体		性別		学校種別			
			人数	%	男性	女性	専門学校	短大・高専	大学	大学院
			1095		672	417	146	97	758	49
					%		%			
問4 応募先を決める際に、どのような条件を重視していますか。(複数回答)	企業の業種・仕事内容	非選択	257	23.5	23.1	24.5	26.7	20.6	23.6	14.3
		選択	835	76.3	76.8	75.3	71.9	79.4	76.3	85.7
		無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0
	企業の知名度	非選択	1044	95.3	95.1	96.2	95.9	97.9	94.7	95.9
		選択	48	4.4	4.8	3.6	2.7	2.1	5.1	4.1
		無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0
	企業の将来性・安定性	非選択	825	75.3	72.2	80.3	68.5	77.3	76.8	65.3
		選択	267	24.4	27.7	19.4	30.1	22.7	23.1	34.7
		無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0
	正社員かどうか	非選択	389	35.5	29.6	45.6	31.5	52.6	34.2	26.5
		選択	703	64.2	70.2	54.2	67.1	47.4	65.7	73.5
		無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0
	勤務時間・休暇・福利厚生	非選択	377	34.4	40.9	24.5	30.8	30.9	35.6	38.8
		選択	715	65.3	58.9	75.3	67.8	69.1	64.2	61.2
無回答		3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0	
給料	非選択	478	43.7	45.8	40.5	42.5	48.5	43.5	51.0	
	選択	614	56.1	54.0	59.2	56.2	51.5	56.3	49.0	
	無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0	
地域条件(勤務地・転勤の有無)	非選択	552	50.4	52.1	47.7	44.5	48.5	50.7	57.1	
	選択	540	49.3	47.8	52.0	54.1	51.5	49.2	42.9	
	無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0	
自分の能力や適性と合っていること	非選択	532	48.6	47.9	49.4	45.2	51.5	48.9	38.8	
	選択	560	51.1	51.9	50.4	53.4	48.5	50.9	61.2	
	無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0	
学歴不問であること	非選択	652	59.5	59.7	60.0	61.6	49.5	58.0	95.9	
	選択	440	40.2	40.2	39.8	37.0	50.5	41.8	4.1	
	無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0	
経験不問であること	非選択	628	57.4	56.7	59.0	57.5	54.6	57.8	59.2	
	選択	464	42.4	43.2	40.8	41.1	45.4	42.1	40.8	
	無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0	
その他	非選択	1082	98.8	99.0	98.8	98.6	97.9	98.8	100.0	
	選択	10	0.9	0.9	1.0	0.0	2.1	1.1	0.0	
	無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0	
どのような条件でもかまわない	非選択	1088	99.4	99.4	99.5	97.3	100.0	99.6	100.0	
	選択	4	0.4	0.4	0.2	1.4	0.0	0.3	0.0	
	無回答	3	0.3	0.1	0.2	1.4	0.0	0.1	0.0	
問5 現在、就職活動のほかに、何かしていますか。	就職活動のみをしている	574	52.4	54.8	48.7	60.3	69.1	48.8	51.0	
	就職活動中だが、非正規雇用で働いている	276	25.2	24.3	26.6	24.0	13.4	27.0	20.4	
	就職活動中だが、正規雇用で働いている	37	3.4	3.1	3.8	4.1	1.0	3.8	0.0	
	就職活動中だが、進学や資格取得の為に勉強している	147	13.4	12.4	15.3	7.5	10.3	14.6	20.4	
	その他	45	4.1	4.0	4.3	2.1	4.1	4.4	8.2	
問6 学校を中退してからこれまでを振り返って、次のような働き方や無職を経験したことがありますか。(複数回答)	1ヶ月以上無職だったことがある(学生や主婦ではなく)	非選択	533	48.7	48.2	49.4	58.2	50.5	45.8	59.2
		選択	551	50.3	50.9	49.6	39.7	47.4	53.6	38.8
		無回答	11	1.0	0.9	1.0	2.1	2.1	0.7	2.0
	これまで働いたことはない	非選択	947	86.5	85.0	89.2	79.5	87.6	89.3	61.2
		選択	137	12.5	14.1	9.8	18.5	10.3	10.0	36.7
		無回答	11	1.0	0.9	1.0	2.1	2.1	0.7	2.0
	パート・アルバイト	非選択	261	23.8	25.1	21.8	30.8	22.7	20.8	55.1
		選択	823	75.2	74.0	77.2	67.1	75.3	78.5	42.9
		無回答	11	1.0	0.9	1.0	2.1	2.1	0.7	2.0
	契約社員・嘱託	非選択	918	83.8	84.7	82.5	87.7	78.4	83.9	79.6
		選択	166	15.2	14.4	16.5	10.3	19.6	15.4	18.4
		無回答	11	1.0	0.9	1.0	2.1	2.1	0.7	2.0
	派遣社員	非選択	899	82.1	82.4	81.8	88.4	79.4	80.5	87.8
		選択	185	16.9	16.7	17.3	9.6	18.6	18.9	10.2
無回答		11	1.0	0.9	1.0	2.1	2.1	0.7	2.0	
正社員・公務員	非選択	785	71.7	71.4	72.2	73.3	73.2	70.7	77.6	
	選択	299	27.3	27.7	26.9	24.7	24.7	28.6	20.4	
	無回答	11	1.0	0.9	1.0	2.1	2.1	0.7	2.0	
自営・家業	非選択	1030	94.1	93.9	94.5	92.5	93.8	93.9	95.9	
	選択	54	4.9	5.2	4.6	5.5	4.1	5.4	2.0	
	無回答	11	1.0	0.9	1.0	2.1	2.1	0.7	2.0	
その他の働き方	非選択	1076	98.3	98.5	98.1	97.3	95.9	98.7	98.0	
	選択	8	0.7	0.6	1.0	0.7	2.1	0.7	0.0	
	無回答	11	1.0	0.9	1.0	2.1	2.1	0.7	2.0	
問7 中退してから、最初に就職活動を始めるまで、どのくらいの期間がたっていましたか。	中退する前から	200	18.3	17.6	19.7	13.7	24.7	17.3	32.7	
	3か月未満	393	35.9	35.4	36.5	52.1	30.9	33.2	32.7	
	3か月～6か月未満	118	10.8	11.3	10.1	10.3	8.2	10.6	16.3	
	6か月～1年未満	110	10.0	9.8	10.6	12.3	12.4	10.3	2.0	
	1年～3年未満	170	15.5	15.6	15.3	6.8	13.4	18.1	10.2	
	3年以上	96	8.8	9.5	7.4	3.4	10.3	9.9	6.1	
問8 中退後の就職活動中に、何か困ったことや不利益を感じたことはありましたか。	ない	560	51.1	53.4	48.0	54.8	53.6	50.4	46.9	
	ある	468	42.7	41.5	44.4	42.5	42.3	42.9	53.1	
	無回答	67	6.1	5.1	7.7	2.7	4.1	6.7	0.0	

大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査(基礎集計表)

			全体		性別		学校種別			
					男性	女性	専門学校	短大・高専	大学	大学院
有効回答数 (N)			1095		672	417	146	97	758	49
			人数	%	%		%			
問9 あなたが最後に在籍した(中退した)学校について教えてください。	学校所在地	北海道・東北地方	103	9.4	9.8	8.9	11.0	13.4	9.1	8.2
		関東地方	341	31.1	32.9	28.8	21.9	24.7	34.8	42.9
		中部地方	149	13.6	15.0	11.5	17.1	10.3	13.9	18.4
		近畿地方	231	21.1	19.5	24.0	18.5	20.6	23.2	14.3
		中国・四国地方	97	8.9	7.7	10.8	12.3	13.4	7.8	12.2
		九州・沖縄地方	107	9.8	8.8	11.0	18.5	17.5	8.2	2.0
		外国	5	0.5	0.6	0.2	0.0	0.0	0.7	0.0
		無回答	62	5.7	5.7	4.8	0.7	0.0	2.4	2.0
	学校の種類	専門学校	146	13.3	9.7	18.9				
		短大・高専	97	8.9	3.0	18.5				
		大学	758	69.2	77.7	55.9				
		大学院	49	4.5	5.5	2.9				
		その他・無回答	45	4.1	4.2	3.8				
	学部・専攻	専門・工業系	18	1.6	2.1	0.7	12.3			
		専門・農業系	3	0.3	0.4	0.0	2.1			
		専門・医療系	60	5.5	3.0	9.6	41.1			
		専門・衛生系	11	1.0	0.3	2.2	7.5			
		専門・教育社会福祉系	9	0.8	0.7	1.0	6.2			
		専門・商業実務系	18	1.6	0.9	2.6	12.3			
		専門・服飾家政系	3	0.3	0.0	0.7	2.1			
		専門・文化教養系	19	1.7	1.8	1.7	13.0			
		短大・人文系	5	0.5	0.0	1.2		5.2		
		短大・社会系	9	0.8	0.6	1.2		9.3		
		短大・教養系	1	0.1	0.0	0.2		1.0		
		短大・工業系	3	0.3	0.3	0.2		3.1		
		短大・保健系	7	0.6	0.1	1.4		7.2		
		短大・家政系	16	1.5	0.1	3.6		16.5		
短大・教育系		28	2.6	0.3	6.2		28.9			
短大・芸術系		8	0.7	0.0	1.9		8.2			
短大・その他		6	0.5	0.0	1.4		6.2			
高専・工業系		10	0.9	1.2	0.5		10.3			
高専・芸術系		1	0.1	0.1	0.0		1.0			
大学・人文系		131	12.0	10.6	14.4			17.3		
大学・社会科学系		249	22.7	28.6	13.7			32.8		
大学・理学系		20	1.8	1.9	1.7			2.6		
大学・工学系		156	14.2	21.3	3.1			20.4		
大学・農学系		13	1.2	0.9	1.7			1.7		
大学・保健系		45	4.1	3.3	5.3			5.9		
大学・家政系		21	1.9	0.4	4.1			2.8		
大学・教育系		27	2.5	2.2	2.9			3.6		
大学・芸術系		24	2.2	2.1	2.4			3.2		
大学・その他		37	3.4	2.8	4.3			4.9		
大学院・人文系		7	0.6	0.4	1.0			14.3		
大学院・社会科学系		14	1.3	1.8	0.5			28.6		
大学院・理学系		7	0.6	0.9	0.2			14.3		
大学院・工学系		9	0.8	1.3	0.0			18.4		
大学院・農学系	4	0.4	0.3	0.5			8.2			
大学院・保健系	2	0.2	0.3	0.0			4.1			
大学院・教育系	2	0.2	0.0	0.5			4.1			
大学院・芸術系	1	0.1	0.0	0.2			2.0			
分類不能	2	0.2	0.1	0.2	0.0	2.1	0.0	0.0		
無回答	89	8.1	8.6	7.0	3.4	1.0	4.7	6.1		
入学志望度	とても志望していた	261	23.8	20.8	28.8	36.3	33.0	20.1	46.9	
	まあまあ志望していた	539	49.2	50.1	47.7	50.7	52.6	51.1	49.0	
	あまり志望していなかった	174	15.9	18.3	12.0	10.3	12.4	19.3	2.0	
	まったく志望していなかった	68	6.2	5.8	7.0	2.1	2.1	8.3	0.0	
	無回答	53	4.8	4.9	4.6	0.7	0.0	1.3	2.0	
入試方法	一般入試(センター入試含む)	490	44.7	48.4	39.1	34.9	32.0	49.1	73.5	
	AO入試	146	13.3	12.9	14.1	24.0	16.5	12.3	0.0	
	指定校推薦	213	19.5	17.7	22.3	24.0	25.8	19.9	2.0	
	公募推薦	114	10.4	8.2	14.1	9.6	21.6	9.9	8.2	
	附属・系列高校から進学	27	2.5	2.7	2.2	0.0	3.1	2.9	4.1	
	その他	53	4.8	5.5	3.6	6.2	1.0	4.9	12.2	
	無回答	52	4.7	4.6	4.6	1.4	0.0	1.1	0.0	
問10 あなたは、その学校に通っていたとき、おもにどこにお住まいでしたか。	実家	574	52.4	50.4	56.1	71.9	64.9	50.9	36.7	
	アパートなど(一人暮らし)	391	35.7	37.1	33.1	21.2	23.7	40.2	61.2	
	学生寮など	68	6.2	6.7	5.5	4.8	10.3	6.6	2.0	
	その他	19	1.7	1.8	1.7	2.1	1.0	1.8	0.0	
	無回答	43	3.9	4.0	3.6	0.0	0.0	0.4	0.0	

大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査(基礎集計表)

有効回答数 (N)			全体		性別		学校種別			
			人数	%	男性	女性	専門学校	短大・高専	大学	大学院
			1095		672	417	146	97	758	49
問11 あなたは、その学校に通っていたとき、次のことをどのくらい熱心におこなっていましたか。	学校での授業	とても熱心だった	145	13.2	11.2	16.5	23.3	19.6	9.5	40.8
		まあ熱心だった	399	36.4	33.0	42.0	50.0	45.4	34.2	40.8
		それほど熱心ではなかった	359	32.8	34.7	30.0	22.6	28.9	38.0	14.3
		まったく熱心ではなかった	150	13.7	17.4	7.7	4.1	6.2	17.9	4.1
		無回答	42	3.8	3.7	3.8	0.0	0.0	0.4	0.0
	クラブやサークルでの活動	とても熱心だった	172	15.7	17.7	12.7	8.2	6.2	19.5	10.2
		まあ熱心だった	201	18.4	18.5	18.2	17.1	7.2	21.2	14.3
		それほど熱心ではなかった	207	18.9	18.3	19.9	20.5	29.9	18.2	18.4
		まったく熱心ではなかった	458	41.8	41.5	42.2	46.6	52.6	40.6	57.1
		無回答	57	5.2	4.0	7.0	7.5	4.1	0.4	0.0
	友だちや恋人との付き合い	とても熱心だった	244	22.3	22.2	22.5	24.7	26.8	23.1	14.3
		まあ熱心だった	420	38.4	35.3	43.2	45.9	41.2	38.1	44.9
		それほど熱心ではなかった	244	22.3	23.5	20.4	15.1	22.7	24.3	28.6
		まったく熱心ではなかった	142	13.0	15.2	9.6	13.0	9.3	14.0	12.2
		無回答	45	4.1	3.9	4.3	1.4	0.0	0.5	0.0
	アルバイト	とても熱心だった	241	22.0	21.3	23.3	16.4	20.6	25.3	8.2
		まあ熱心だった	334	30.5	30.1	31.4	26.7	33.0	32.8	26.5
		それほど熱心ではなかった	198	18.1	18.6	17.3	17.8	16.5	19.1	20.4
まったく熱心ではなかった		267	24.4	25.9	21.8	35.6	28.9	21.4	44.9	
無回答		55	5.0	4.2	6.2	3.4	1.0	1.3	0.0	
ダブルスクール・資格取得	とても熱心だった	35	3.2	2.8	3.8	9.6	2.1	2.0	8.2	
	まあ熱心だった	83	7.6	6.7	8.6	13.0	6.2	7.3	4.1	
	それほど熱心ではなかった	240	21.9	21.7	22.3	33.6	25.8	20.7	14.3	
	まったく熱心ではなかった	678	61.9	64.1	58.8	39.0	63.9	68.6	73.5	
	無回答	59	5.4	4.6	6.5	4.8	2.1	1.5	0.0	
問12 中途退学したのはいつですか。	中退した時期(年)	～2000年	45	4.1	4.0	4.3	1.4	9.3	4.5	0.0
		2001～2005年	103	9.4	9.1	9.8	3.4	11.3	11.3	2.0
		2006～2010年	226	20.6	21.1	19.9	13.7	22.7	23.0	18.4
		2011～2014年	627	57.3	58.5	55.6	78.1	51.5	55.5	79.6
		無回答	94	8.6	7.3	10.3	3.4	5.2	5.7	0.0
	中退時の年齢	～18歳	69	6.3	3.3	11.0	14.4	18.6	4.0	0.0
		19～20歳	351	32.1	25.4	43.2	54.1	56.7	28.4	0.0
		21～22歳	297	27.1	30.8	21.6	17.1	14.4	33.6	4.1
		23～24歳	160	14.6	18.8	7.9	5.5	3.1	17.4	32.7
		25歳以上	100	9.1	11.9	4.8	3.4	1.0	8.3	63.3
	無回答	118	10.8	9.8	11.5	5.5	6.2	8.3	0.0	
	中退した時期(月)	1月	31	2.8	3.0	2.6	4.8	2.1	2.8	0.0
		2月	36	3.3	3.3	3.4	3.4	2.1	3.6	4.1
		3月	336	30.7	34.4	25.2	21.2	27.8	33.2	51.0
		4月	70	6.4	7.3	5.0	6.2	6.2	7.1	2.0
		5月	20	1.8	1.6	1.9	0.7	1.0	2.4	0.0
		6月	34	3.1	3.0	3.4	5.5	3.1	2.8	4.1
		7月	36	3.3	2.5	4.6	2.7	7.2	3.3	0.0
8月		82	7.5	6.4	9.1	13.7	11.3	6.5	4.1	
9月		191	17.4	17.7	17.3	18.5	15.5	17.3	32.7	
10月		61	5.6	5.7	5.5	8.2	6.2	5.7	0.0	
11月		19	1.7	1.2	2.6	1.4	5.2	1.6	0.0	
12月		26	2.4	1.9	3.1	5.5	2.1	2.1	0.0	
無回答		153	14.0	12.1	16.3	8.2	10.3	11.7	2.0	
中退したときの学年	1年生	266	24.3	17.1	35.7	52.1	50.5	16.8	26.5	
	2年生	355	32.4	29.8	36.7	37.7	37.1	30.5	61.2	
	3年生	193	17.6	21.4	11.5	5.5	4.1	23.4	6.1	
	4年生以上	218	19.9	26.2	10.1	2.1	5.2	27.4	4.1	
	無回答	63	5.8	5.5	6.0	2.7	3.1	2.0	2.0	
中退を考え始めてから、実際に中退するまでの期間	1か月未満	207	18.9	19.6	17.7	24.7	32.0	16.5	24.5	
	1～3か月未満	256	23.4	21.0	26.9	32.2	27.8	22.8	16.3	
	3か月～半年未満	200	18.3	18.5	18.2	21.9	17.5	18.9	14.3	
	半年～1年未満	212	19.4	19.6	18.9	13.7	15.5	21.5	26.5	
	1年以上	153	14.0	15.2	12.2	4.8	6.2	17.4	16.3	
無回答	67	6.1	6.1	6.0	2.7	1.0	2.9	2.0		

大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査(基礎集計表)

有効回答数 (N)			全体		性別		学校種別			
			人数	%	男性	女性	専門学校	短大・高専	大学	大学院
			1095		672	417	146	97	758	49
				%	%		%			
問13 あなたは、なぜ中退しようと思いましたが、(複数回答)	勉強に興味・関心が持てなかったから	非選択	530	48.4	46.1	52.5	56.2	44.3	47.9	73.5
		選択	519	47.4	49.9	43.2	42.5	55.7	51.5	26.5
		無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0
	遅刻や欠席が多かったから	非選択	838	76.5	75.4	78.2	88.4	75.3	77.0	95.9
		選択	211	19.3	20.5	17.5	10.3	24.7	22.3	4.1
		無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0
	単位が不足したから	非選択	612	55.9	45.8	72.2	77.4	70.1	50.7	89.8
		選択	437	39.9	50.1	23.5	21.2	29.9	48.7	10.2
		無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0
	教員とうまく関われなかったから	非選択	889	81.2	83.0	78.2	75.3	83.5	87.5	59.2
		選択	160	14.6	12.9	17.5	23.3	16.5	11.9	40.8
		無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0
	友達とうまく関われなかったから	非選択	836	76.3	79.3	71.9	76.0	74.2	79.9	83.7
		選択	213	19.5	16.7	23.7	22.6	25.8	19.4	16.3
		無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0
	自分の生活リズムが学校と合わなかったから	非選択	930	84.9	85.4	84.2	87.0	87.6	88.0	91.8
		選択	119	10.9	10.6	11.5	11.6	12.4	11.3	8.2
		無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0
	通学するのが大変だったから	非選択	931	85.0	85.9	83.7	89.7	88.7	87.2	95.9
		選択	118	10.8	10.1	12.0	8.9	11.3	12.1	4.1
無回答		46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0	
仕事をしたいと思ったから	非選択	835	76.3	78.0	73.6	82.2	78.4	78.5	79.6	
	選択	214	19.5	18.0	22.1	16.4	21.6	20.8	20.4	
	無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0	
ほかにやりたいことがあったから	非選択	855	78.1	80.1	74.8	78.1	82.5	80.9	85.7	
	選択	194	17.7	15.9	20.9	20.5	17.5	18.5	14.3	
	無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0	
病気やケガがあったから	非選択	922	84.2	86.2	81.1	87.0	87.6	88.0	79.6	
	選択	127	11.6	9.8	14.6	11.6	12.4	11.3	20.4	
	無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0	
経済的に苦しかったから	非選択	763	69.7	69.2	70.7	80.1	82.5	69.9	69.4	
	選択	286	26.1	26.8	24.9	18.5	17.5	29.4	30.6	
	無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0	
しばらく休みたかったから	非選択	976	89.1	91.7	85.4	91.8	90.7	92.6	93.9	
	選択	73	6.7	4.3	10.3	6.8	9.3	6.7	6.1	
	無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0	
妊娠・出産をしたから	非選択	1031	94.2	95.2	92.6	97.9	99.0	97.2	100.0	
	選択	18	1.6	0.7	3.1	0.7	1.0	2.1	0.0	
	無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0	
特に何もなかった	非選択	1046	95.5	95.7	95.4	97.9	100.0	99.1	100.0	
	選択	3	0.3	0.3	0.2	0.7	0.0	0.3	0.0	
	無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0	
その他	非選択	895	81.7	82.7	80.1	85.6	82.5	85.4	75.5	
	選択	154	14.1	13.2	15.6	13.0	17.5	14.0	24.5	
	無回答	46	4.2	4.0	4.3	1.4	0.0	0.7	0.0	
問13-1 中退しようと思った最も重要な理由	勉強に興味・関心が持てなかったから		218	19.9	21.0	18.0	23.3	22.7	20.7	10.2
	遅刻や欠席が多かったから		22	2.0	2.5	1.2	0.7	3.1	2.4	0.0
	単位が不足したから		133	12.1	16.5	5.0	10.3	8.2	14.4	2.0
	教員とうまく関われなかったから		30	2.7	2.7	2.9	8.9	1.0	1.1	16.3
	友達とうまく関われなかったから		44	4.0	3.1	5.5	6.8	6.2	3.7	0.0
	自分の生活リズムが学校と合わなかったから		17	1.6	1.3	1.9	1.4	1.0	1.7	2.0
	通学するのが大変だったから		9	0.8	0.9	0.7	0.0	1.0	1.1	0.0
	仕事をしたいと思ったから		65	5.9	6.3	5.5	4.8	7.2	6.3	6.1
	ほかにやりたいことがあったから		75	6.8	5.8	8.6	6.8	6.2	7.3	8.2
	病気やケガがあったから		74	6.8	4.8	10.1	8.2	7.2	6.2	12.2
	経済的に苦しかったから		132	12.1	12.1	12.0	7.5	10.3	13.3	14.3
	しばらく休みたかったから		18	1.6	1.0	2.4	1.4	1.0	1.8	2.0
	妊娠・出産をしたから		15	1.4	0.6	2.6	0.0	1.0	1.8	0.0
	特に何もなかった		3	0.3	0.3	0.2	0.7	0.0	0.3	0.0
	その他(家庭問題)		25	2.3	2.1	2.6	1.4	2.1	2.6	2.0
	その他(学業起因)		40	3.7	3.1	4.6	6.8	4.1	2.5	14.3
	その他(人間関係)		14	1.3	1.2	1.4	0.0	1.0	1.7	0.0
その他(メンタル・体調不良)		23	2.1	1.6	2.9	1.4	5.2	2.0	2.0	
その他(進路変更・その他)		18	1.6	1.9	1.2	0.7	2.1	1.8	2.0	
無回答		120	11.0	11.2	10.6	8.9	9.3	7.3	6.1	

大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査(基礎集計表)

			全体		性別		学校種別			
			人数	%	男性	女性	専門学校	短大・高専	大学	大学院
有効回答数 (N)			1095		672	417	146	97	758	49
					%		%			
問14 中途を決めるまでの間に、誰に相談しましたか。(複数回答)	親・保護者	非選択	217	19.8	21.3	17.7	14.4	19.6	21.4	30.6
		選択	834	76.2	74.7	78.4	84.2	80.4	78.2	69.4
		無回答	44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0
	同じ学校の友人	非選択	776	70.9	73.1	67.4	62.3	68.0	75.9	79.6
		選択	275	25.1	22.9	28.8	36.3	32.0	23.7	20.4
		無回答	44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0
	学校外の友人	非選択	808	73.8	76.8	68.8	69.9	72.2	78.1	77.6
		選択	243	22.2	19.2	27.3	28.8	27.8	21.5	22.4
		無回答	44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0
	兄弟姉妹	非選択	989	90.3	91.8	88.2	90.4	95.9	93.8	95.9
		選択	62	5.7	4.2	7.9	8.2	4.1	5.8	4.1
		無回答	44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0
	恋人・配偶者	非選択	908	82.9	86.2	77.7	84.9	81.4	86.0	95.9
		選択	143	13.1	9.8	18.5	13.7	18.6	13.6	4.1
無回答		44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0	
先輩	非選択	982	89.7	88.2	92.1	91.1	97.9	92.5	95.9	
	選択	69	6.3	7.7	4.1	7.5	2.1	7.1	4.1	
	無回答	44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0	
学校の先生・職員・カウンセラー	非選択	760	69.4	72.3	65.0	60.3	71.1	75.2	61.2	
	選択	291	26.6	23.7	31.2	38.4	28.9	24.4	38.8	
	無回答	44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0	
これまで卒業した学校(小・中・高校・予備校など)の先生など	非選択	1023	93.4	94.0	92.6	93.8	95.9	97.5	98.0	
	選択	28	2.6	1.9	3.6	4.8	4.1	2.1	2.0	
	無回答	44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0	
公的な支援機関	非選択	1042	95.2	95.5	94.7	97.9	100.0	98.8	95.9	
	選択	9	0.8	0.4	1.4	0.7	0.0	0.8	4.1	
	無回答	44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0	
その他	非選択	1036	94.6	95.1	94.0	97.3	96.9	98.4	98.0	
	選択	15	1.4	0.9	2.2	1.4	3.1	1.2	2.0	
	無回答	44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0	
誰にも相談しなかった	非選択	920	84.0	81.7	87.8	95.2	89.7	85.9	75.5	
	選択	131	12.0	14.3	8.4	3.4	10.3	13.7	24.5	
	無回答	44	4.0	4.0	3.8	1.4	0.0	0.4	0.0	
問15-A 中退した直後にしたいと思ったことは何か。(複数回答)	他の学校へ入学したい	非選択	910	83.1	83.3	82.7	85.6	84.5	85.9	98.0
		選択	140	12.8	12.6	13.2	13.7	15.5	13.5	2.0
		無回答	45	4.1	4.0	4.1	0.7	0.0	0.7	0.0
	資格を取得したい	非選択	925	84.5	86.8	80.8	86.3	84.5	88.4	85.7
		選択	125	11.4	9.2	15.1	13.0	15.5	10.9	14.3
		無回答	45	4.1	4.0	4.1	0.7	0.0	0.7	0.0
	職業訓練を受けたい	非選択	1011	92.3	93.0	91.4	93.2	97.9	95.8	100.0
		選択	39	3.6	3.0	4.6	6.2	2.1	3.6	0.0
		無回答	45	4.1	4.0	4.1	0.7	0.0	0.7	0.0
	正社員として就職したい	非選択	540	49.3	45.7	55.2	45.9	58.8	52.2	32.7
		選択	510	46.6	50.3	40.8	53.4	41.2	47.1	67.3
		無回答	45	4.1	4.0	4.1	0.7	0.0	0.7	0.0
	アルバイトをしたい	非選択	816	74.5	75.6	72.7	69.9	76.3	78.6	81.6
		選択	234	21.4	20.4	23.3	29.5	23.7	20.7	18.4
無回答		45	4.1	4.0	4.1	0.7	0.0	0.7	0.0	
在学中から行っていたアルバイトを継続したい	非選択	928	84.7	85.1	84.2	90.4	83.5	87.3	95.9	
	選択	122	11.1	10.9	11.8	8.9	16.5	12.0	4.1	
	無回答	45	4.1	4.0	4.1	0.7	0.0	0.7	0.0	
特に何も考えていなかった	非選択	870	79.5	79.3	80.3	87.0	82.5	81.0	91.8	
	選択	180	16.4	16.7	15.6	12.3	17.5	18.3	8.2	
	無回答	45	4.1	4.0	4.1	0.7	0.0	0.7	0.0	
その他	非選択	971	88.7	89.6	87.5	93.8	92.8	92.0	83.7	
	選択	79	7.2	6.4	8.4	5.5	7.2	7.4	16.3	
	無回答	45	4.1	4.0	4.1	0.7	0.0	0.7	0.0	
問15-B 中退した直後に実際には何をしていますか。(複数回答)	他の学校へ入学するため勉強した	非選択	999	91.2	91.2	91.4	93.8	92.8	94.7	100.0
		選択	43	3.9	4.0	3.8	3.4	5.2	4.2	0.0
		無回答	53	4.8	4.8	4.8	2.7	2.1	1.1	0.0
	資格取得のための勉強をした	非選択	926	84.6	85.7	82.7	89.0	89.7	87.9	77.6
		選択	116	10.6	9.5	12.5	8.2	8.2	11.1	22.4
		無回答	53	4.8	4.8	4.8	2.7	2.1	1.1	0.0
	職業訓練を受けるための準備をした	非選択	1001	91.4	91.5	91.4	94.5	96.9	94.6	95.9
		選択	41	3.7	3.7	3.8	2.7	1.0	4.4	4.1
		無回答	53	4.8	4.8	4.8	2.7	2.1	1.1	0.0
	正社員として就職するための活動をした	非選択	691	63.1	59.1	69.8	56.8	77.3	66.4	49.0
		選択	351	32.1	36.2	25.4	40.4	20.6	32.6	51.0
		無回答	53	4.8	4.8	4.8	2.7	2.1	1.1	0.0
	アルバイトを探した	非選択	694	63.4	63.4	63.3	61.6	61.9	66.2	81.6
		選択	348	31.8	31.8	31.9	35.6	36.1	32.7	18.4
無回答		53	4.8	4.8	4.8	2.7	2.1	1.1	0.0	
在学中から行っていたアルバイトを継続した	非選択	743	67.9	69.0	66.2	72.6	63.9	69.3	91.8	
	選択	299	27.3	26.2	29.0	24.7	34.0	29.7	8.2	
	無回答	53	4.8	4.8	4.8	2.7	2.1	1.1	0.0	
特に何もしなかった	非選択	949	86.7	86.2	87.5	92.5	91.8	89.3	85.7	
	選択	93	8.5	9.1	7.7	4.8	6.2	9.6	14.3	
	無回答	53	4.8	4.8	4.8	2.7	2.1	1.1	0.0	
その他	非選択	950	86.8	87.2	86.1	91.1	89.7	89.8	87.8	
	選択	92	8.4	8.0	9.1	6.2	8.2	9.1	12.2	
	無回答	53	4.8	4.8	4.8	2.7	2.1	1.1	0.0	

大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査(基礎集計表)

有効回答数 (N)			全体		性別		学校種別			
			人数	%	男性	女性	専門学校	短大・高専	大学	大学院
			1095		672	417	146	97	758	49
					%		%			
問16-A 中退したときに知りたかった情報 (複数回答)	他の学校への入学に向けた情報	非選択	912	83.3	84.5	81.5	85.6	85.6	86.1	98.0
		選択	126	11.5	10.9	12.5	11.6	13.4	12.4	0.0
		無回答	57	5.2	4.6	6.0	2.7	1.0	1.5	2.0
	資格取得のための情報	非選択	812	74.2	76.6	70.5	80.1	75.3	76.0	87.8
		選択	226	20.6	18.8	23.5	17.1	23.7	22.6	10.2
		無回答	57	5.2	4.6	6.0	2.7	1.0	1.5	2.0
	職業訓練の情報	非選択	788	72.0	72.9	70.7	74.7	74.2	74.7	77.6
		選択	250	22.8	22.5	23.3	22.6	24.7	23.9	20.4
		無回答	57	5.2	4.6	6.0	2.7	1.0	1.5	2.0
	仕事探しの相談をするための支援機関等の情報	非選択	517	47.2	47.2	47.5	46.6	58.8	48.9	40.8
選択		521	47.6	48.2	46.5	50.7	40.2	49.6	57.1	
無回答		57	5.2	4.6	6.0	2.7	1.0	1.5	2.0	
心の悩みを相談するための支援機関等の情報	非選択	784	71.6	74.3	68.1	72.6	77.3	75.2	61.2	
	選択	254	23.2	21.1	25.9	24.7	21.6	23.4	36.7	
	無回答	57	5.2	4.6	6.0	2.7	1.0	1.5	2.0	
その他	非選択	1019	93.1	93.3	92.8	97.3	97.9	96.3	95.9	
	選択	19	1.7	2.1	1.2	0.0	1.0	2.2	2.0	
	無回答	57	5.2	4.6	6.0	2.7	1.0	1.5	2.0	
特に知りたい情報はなかった	非選択	775	70.8	70.4	71.2	74.0	67.0	73.9	75.5	
	選択	263	24.0	25.0	22.8	23.3	32.0	24.7	22.4	
	無回答	57	5.2	4.6	6.0	2.7	1.0	1.5	2.0	
問16-B 中退したときに受けた支援 (複数回答)	他の学校への入学に向けた情報収集支援	非選択	902	82.4	83.3	81.1	86.3	82.5	85.4	93.9
		選択	116	10.6	10.1	11.3	10.3	15.5	11.1	2.0
		無回答	77	7.0	6.5	7.7	3.4	2.1	3.6	4.1
	資格取得のための情報収集支援	非選択	792	72.3	74.1	69.5	78.8	75.3	73.7	85.7
		選択	226	20.6	19.3	22.8	17.8	22.7	22.7	10.2
		無回答	77	7.0	6.5	7.7	3.4	2.1	3.6	4.1
	職業訓練を受けるための相談支援	非選択	778	71.1	72.3	69.5	78.1	72.2	72.6	83.7
		選択	240	21.9	21.1	22.8	18.5	25.8	23.9	12.2
		無回答	77	7.0	6.5	7.7	3.4	2.1	3.6	4.1
	仕事探しの相談支援	非選択	487	44.5	43.6	46.0	39.0	54.6	46.4	51.0
選択		531	48.5	49.9	46.3	57.5	43.3	50.0	44.9	
無回答		77	7.0	6.5	7.7	3.4	2.1	3.6	4.1	
心の悩みに係る相談支援	非選択	772	70.5	72.3	68.3	67.1	76.3	75.2	57.1	
	選択	246	22.5	21.1	24.0	29.5	21.6	21.2	38.8	
	無回答	77	7.0	6.5	7.7	3.4	2.1	3.6	4.1	
その他	非選択	1010	92.2	92.4	92.1	96.6	97.9	95.5	93.9	
	選択	8	0.7	1.0	0.2	0.0	0.0	0.9	2.0	
	無回答	77	7.0	6.5	7.7	3.4	2.1	3.6	4.1	
特に受けたい支援はなかった	非選択	764	69.8	69.8	69.5	78.1	67.0	72.2	69.4	
	選択	254	23.2	23.7	22.8	18.5	30.9	24.3	26.5	
	無回答	77	7.0	6.5	7.7	3.4	2.1	3.6	4.1	
問17 中退したときに、悩んだことや困ったことはありましたか。(自由記述)			省略							
問18-A 中退してから今までの間に、どのようなことをしてきましたか。 (複数回答)	正社員として就職するための求職活動	非選択	216	19.7	17.0	24.5	14.4	25.8	21.2	14.3
		選択	784	71.6	75.1	65.9	79.5	68.0	74.0	77.6
		無回答	95	8.7	7.9	9.6	6.2	6.2	4.7	8.2
	正社員以外として働くための求職活動(学生時代からのアルバイトを除く)	非選択	345	31.5	34.2	27.3	36.3	24.7	32.2	46.9
		選択	655	59.8	57.9	63.1	57.5	69.1	63.1	44.9
		無回答	95	8.7	7.9	9.6	6.2	6.2	4.7	8.2
他の学校へ入学するための勉強・準備	非選択	798	72.9	74.3	71.2	74.7	71.1	75.7	87.8	
	選択	202	18.4	17.9	19.2	19.2	22.7	19.5	4.1	
	無回答	95	8.7	7.9	9.6	6.2	6.2	4.7	8.2	
資格取得の勉強・準備	非選択	596	54.4	57.3	50.4	62.3	51.5	56.5	55.1	
	選択	404	36.9	34.8	40.0	31.5	42.3	38.8	36.7	
	無回答	95	8.7	7.9	9.6	6.2	6.2	4.7	8.2	
問18-B 中退してから今までの間に、してきた結果について。 (問18-Aで「選択」の人のみ)	N		784		505	275	116	66	561	38
	正社員として就職するための求職活動	正社員になった	314	40.1	38.6	42.2	36.2	39.4	40.8	42.1
		正社員になっていない	435	55.5	56.8	53.5	58.6	56.1	54.7	55.3
		無回答	35	4.5	4.6	4.4	5.2	4.5	4.5	2.6
	N		655		389	263	84	67	478	22
	正社員以外として働くための求職活動(学生時代からのアルバイトを除く)	仕事を得た	463	70.7	66.8	76.4	54.8	76.1	73.0	63.6
		仕事を得ていない	112	17.1	19.3	13.7	26.2	13.4	15.7	27.3
		無回答	80	12.2	13.9	9.9	19.0	10.4	11.3	9.1
	N		202		120	80	28	22	148	2
	他の学校へ入学するための勉強・準備	入学した	49	24.3	25.0	23.8	17.9	13.6	27.7	0.0
入学していない		145	71.8	70.8	72.5	78.6	81.8	68.2	100.0	
無回答		8	4.0	4.2	3.8	3.6	4.5	4.1	0.0	
N		404		234	167	46	41	294	18	
資格取得の勉強・準備	資格を取得した	197	48.8	44.0	55.7	45.7	58.5	48.6	38.9	
	資格を取得していない	182	45.0	48.7	39.5	50.0	39.0	44.6	50.0	
	無回答	25	6.2	7.3	4.8	4.3	2.4	6.8	11.1	

大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査(基礎集計表)

有効回答数 (N)			全体		性別		学校種別				
			人数	%	男性	女性	専門学校	短大・高専	大学	大学院	
			1095		672	417	146	97	758	49	
					%		%				
問19 あなたの高校について教えてください。	高校に通ったかどうか	国内	1040	95.0	94.8	95.4	98.6	96.9	99.1	98.0	
		海外	1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	
		大検	4	0.4	0.6	0.0	0.7	0.0	0.4	0.0	
		その他	1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	
		無回答	49	4.5	4.5	4.3	0.7	3.1	0.3	2.0	
	N			1040		637	398	144	94	751	48
	所在地 (国内のみ)	北海道・東北地方	149	14.3	14.6	14.1	11.8	18.1	14.1	16.7	
		関東地方	252	24.2	25.3	22.9	20.1	19.1	25.4	29.2	
		中部地方	176	16.9	18.7	14.3	19.4	9.6	17.2	20.8	
		近畿地方	187	18.0	17.6	18.6	14.6	18.1	19.0	10.4	
中国・四国地方		148	14.2	13.0	16.1	14.6	16.0	13.8	14.6		
九州・沖縄地方		126	12.1	10.7	14.1	19.4	19.1	10.1	8.3		
N			1091		668	417	145	97	755	49	
学科 (大検除く)	普通科	805	73.8	75.7	71.0	60.0	57.7	81.7	85.7		
	専門学科 (商業・工業・農業など)	153	14.0	14.2	13.7	29.0	22.7	11.3	6.1		
	総合学科	52	4.8	3.7	6.5	9.0	9.3	3.7	2.0		
	その他	34	3.1	1.6	5.3	2.1	7.2	2.8	6.1		
	無回答	47	4.3	4.6	3.6	0.0	3.1	0.5	0.0		
課程 (大検除く)	全日制	955	87.5	86.8	88.7	88.3	89.7	91.0	98.0		
	定時制 (おもに夜間の場合)	7	0.6	0.9	0.2	0.7	0.0	0.8	0.0		
	定時制 (おもに昼間の場合)	10	0.9	0.9	1.0	0.7	1.0	1.1	0.0		
	通信制	26	2.4	2.4	2.4	5.5	3.1	2.0	0.0		
	無回答	93	8.5	9.0	7.7	4.8	6.2	5.2	2.0		
N			1095		672	417	146	97	758	49	
問20 進学する学校を選択する際に、次のことがどれくらいあてはまりましたか。	大学や学部を選ぶときに、卒業後につきたい仕事のことを考慮した	よくあてはまる	286	26.1	21.0	34.5	42.5	46.4	21.0	36.7	
		まああてはまる	287	26.2	25.0	27.8	33.6	23.7	27.3	12.2	
		あまりあてはまらない	269	24.6	26.0	22.5	17.1	17.5	28.0	26.5	
		まったくあてはまらない	207	18.9	23.4	11.8	5.5	11.3	23.2	24.5	
		無回答	46	4.2	4.6	3.4	1.4	1.0	0.5	0.0	
	大学に行けば、将来自分がやりたいことが見つかると思った	よくあてはまる	341	31.1	31.0	31.4	28.1	28.9	33.4	34.7	
		まああてはまる	430	39.3	40.0	38.4	37.7	37.1	42.0	36.7	
		あまりあてはまらない	159	14.5	14.7	14.4	15.1	17.5	14.8	14.3	
		まったくあてはまらない	115	10.5	9.2	12.2	15.1	15.5	9.4	14.3	
	無回答			50	4.6	5.1	3.6	4.1	1.0	0.5	0.0
目的はあまり考えずに、とりあえず大学に進学してみようと思った	よくあてはまる	303	27.7	31.3	21.6	14.4	16.5	33.5	24.5		
	まああてはまる	337	30.8	33.2	27.3	32.2	28.9	32.5	30.6		
	あまりあてはまらない	224	20.5	18.3	24.2	26.7	20.6	19.7	22.4		
	まったくあてはまらない	180	16.4	12.4	22.8	24.0	32.0	13.6	22.4		
	無回答			51	4.7	4.9	4.1	2.7	2.1	0.8	0.0
問21 高校時代の生活はどうか。	出席状況	とてもよかった	564	51.5	53.1	48.9	50.7	43.3	52.0	65.3	
		まあよかった	347	31.7	28.9	36.5	34.2	37.1	30.6	28.6	
		あまりよくなかった	134	12.2	12.9	11.3	12.3	12.4	12.5	6.1	
		まったくよくなかった	45	4.1	4.8	3.1	2.1	5.2	4.7	0.0	
		無回答	5	0.5	0.3	0.2	0.7	2.1	0.1	0.0	
	学校の成績	とてもよかった	181	16.5	15.8	17.5	15.8	16.5	16.9	22.4	
		まあよかった	511	46.7	43.2	52.8	48.6	40.2	46.4	55.1	
		あまりよくなかった	306	27.9	31.0	23.3	30.8	30.9	27.7	14.3	
		まったくよくなかった	90	8.2	9.5	6.2	4.1	10.3	8.6	8.2	
	無回答			7	0.6	0.6	0.2	0.7	2.1	0.4	0.0
部活動への取り組み	とてもよかった	308	28.1	27.7	28.8	27.4	19.6	30.2	20.4		
	まあよかった	291	26.6	24.7	30.0	29.5	25.8	25.7	30.6		
	あまりよくなかった	160	14.6	15.5	13.2	17.8	13.4	13.5	26.5		
	まったくよくなかった	316	28.9	30.7	26.1	23.3	38.1	29.2	22.4		
	無回答			20	1.8	1.5	1.9	2.1	3.1	1.5	0.0

## 大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査(基礎集計表)

有効回答数 (N)		全体		性別		学校種別					
		人数	%	男性	女性	専門学校	短大・高専	大学	大学院		
		1095		672	417	146	97	758	49		
				%		%					
問22	あなたの性別	男性	672	61.4				44.5	20.6	68.9	75.5
		女性	417	38.1				54.1	79.4	30.7	24.5
		無回答	6	0.5				1.4	0.0	0.4	0.0
問22	あなたの年齢	10代	83	7.6	6.0	10.1	21.2	16.5	4.7	0.0	0.0
		20代前半	480	43.8	41.8	47.5	57.5	37.1	43.5	12.2	12.2
		20代後半	310	28.3	30.8	24.7	12.3	26.8	29.6	61.2	61.2
		30代前半	129	11.8	11.9	11.8	4.1	9.3	12.8	22.4	22.4
		30代後半	63	5.8	6.8	4.1	2.7	8.2	6.5	4.1	4.1
		無回答	30	2.7	2.7	1.9	2.1	2.1	2.9	0.0	0.0
問23	両親・兄弟姉妹	両親	289	26.4	24.6	29.3	20.5	23.7	27.6	32.7	32.7
		選択	799	73.0	74.9	70.5	78.8	75.3	71.9	67.3	67.3
		無回答	7	0.6	0.6	0.2	0.7	1.0	0.5	0.0	0.0
	あなたの結婚相手	非選択	998	91.1	91.7	90.6	95.2	90.7	90.4	95.9	95.9
		選択	90	8.2	7.7	9.1	4.1	8.2	9.1	4.1	4.1
		無回答	7	0.6	0.6	0.2	0.7	1.0	0.5	0.0	0.0
	あなたの子ども	非選択	1024	93.5	95.4	90.9	97.3	88.7	93.1	100.0	100.0
		選択	64	5.8	4.0	8.9	2.1	10.3	6.3	0.0	0.0
		無回答	7	0.6	0.6	0.2	0.7	1.0	0.5	0.0	0.0
	その他	非選択	1019	93.1	93.8	92.3	89.7	90.7	93.7	93.9	93.9
		選択	69	6.3	5.7	7.4	9.6	8.2	5.8	6.1	6.1
		無回答	7	0.6	0.6	0.2	0.7	1.0	0.5	0.0	0.0
ひとり	非選択	934	85.3	85.0	86.6	87.7	91.8	84.7	73.5	73.5	
	選択	154	14.1	14.4	13.2	11.6	7.2	14.8	26.5	26.5	
	無回答	7	0.6	0.6	0.2	0.7	1.0	0.5	0.0	0.0	
問24	結婚の有無	結婚している	96	8.8	8.0	10.1	4.8	9.3	9.6	4.1	4.1
		結婚していない	995	90.9	91.7	89.9	93.8	90.7	90.2	95.9	95.9
		無回答	4	0.4	0.3	0.0	1.4	0.0	0.1	0.0	0.0
	N		96		54	42	7	9	73	2	
	結婚した時期 (結婚している人のみ)	～2000年	2	2.1	1.9	2.4	0.0	11.1	1.4	0.0	0.0
		2001～2005年	2	2.1	1.9	2.4	0.0	11.1	1.4	0.0	0.0
		2006～2010年	19	19.8	11.1	31.0	14.3	22.2	21.9	0.0	0.0
		2011～2014年	41	42.7	46.3	38.1	42.9	44.4	39.7	50.0	50.0
		無回答	32	33.3	38.9	26.2	42.9	11.1	35.6	50.0	50.0
	結婚時の年齢 (結婚している人のみ)	～20代前半	26	27.1	27.8	26.2	28.6	44.4	24.7	0.0	0.0
		20代後半	28	29.2	25.9	33.3	28.6	22.2	28.8	50.0	50.0
		30代前半	10	10.4	7.4	14.3	0.0	22.2	11.0	0.0	0.0
無回答		32	33.3	38.9	26.2	42.9	11.1	35.6	50.0	50.0	
N		1095		672	417	146	97	758	49		
問25	現在、おもに誰の収入によって生活していますか。	あなた自身	369	33.7	35.1	31.9	19.9	29.9	37.9	26.5	26.5
		あなた以外の家族	714	65.2	63.8	67.4	78.8	68.0	61.2	73.5	73.5
		無回答	12	1.1	1.0	0.7	1.4	2.1	0.9	0.0	0.0

大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査(基礎集計表)

有効回答数 (N)		全体		性別		学校種別				
		1095		男性	女性	専門学校	短大・高専	大学	大学院	
		人数	%	672	417	146	97	758	49	
問26 人生や仕事についての様々な状況で、あなたにどの程度あてはまりますか。	これまでの進路選択は順調であった	かなりあてはまる	72	6.6	5.7	7.9	8.2	5.2	6.1	14.3
		ある程度あてはまる	334	30.5	28.6	34.1	29.5	27.8	30.2	42.9
		あまりあてはまらない	479	43.7	44.0	43.4	46.6	45.4	43.9	26.5
		ほとんどあてはまらない	207	18.9	21.6	14.6	15.1	21.6	19.7	16.3
	無回答	3	0.3	0.1	0.0	0.7	0.0	0.1	0.0	
	自分の生活は、周囲の人からうまくいっていると思われる	かなりあてはまる	39	3.6	2.2	5.5	2.7	6.2	3.4	6.1
		ある程度あてはまる	268	24.5	19.0	33.6	28.8	32.0	22.7	20.4
		あまりあてはまらない	466	42.6	44.5	39.3	40.4	32.0	44.2	42.9
ほとんどあてはまらない		316	28.9	34.1	20.9	27.4	29.9	29.3	30.6	
無回答	6	0.5	0.1	0.7	0.7	0.0	0.4	0.0		
将来の見通しは明るい	かなりあてはまる	41	3.7	3.3	4.6	0.7	3.1	4.2	10.2	
	ある程度あてはまる	186	17.0	12.8	23.7	18.5	16.5	16.0	24.5	
	あまりあてはまらない	503	45.9	46.0	45.8	48.6	45.4	46.3	36.7	
	ほとんどあてはまらない	360	32.9	37.5	25.9	31.5	35.1	33.1	28.6	
無回答	5	0.5	0.4	0.0	0.7	0.0	0.4	0.0		
経済的に自立している	かなりあてはまる	51	4.7	5.1	4.1	1.4	5.2	5.0	8.2	
	ある程度あてはまる	198	18.1	17.4	18.9	13.7	18.6	19.1	16.3	
	あまりあてはまらない	331	30.2	28.3	33.3	34.9	35.1	30.1	16.3	
	ほとんどあてはまらない	508	46.4	49.1	42.7	48.6	41.2	45.4	59.2	
無回答	7	0.6	0.1	1.0	1.4	0.0	0.4	0.0		
努力次第で将来は切り開けると思う	かなりあてはまる	264	24.1	24.0	24.2	21.9	26.8	24.3	26.5	
	ある程度あてはまる	509	46.5	43.6	51.3	56.8	47.4	43.7	49.0	
	あまりあてはまらない	237	21.6	23.2	19.4	15.8	17.5	24.1	16.3	
	ほとんどあてはまらない	82	7.5	9.1	5.0	4.8	8.2	7.8	8.2	
無回答	3	0.3	0.1	0.0	0.7	0.0	0.1	0.0		
仕事以外に生きがいがある	かなりあてはまる	280	25.6	25.0	26.6	26.0	27.8	25.5	24.5	
	ある程度あてはまる	456	41.6	40.9	43.2	43.2	40.2	41.0	46.9	
	あまりあてはまらない	252	23.0	24.0	21.3	21.9	24.7	24.0	18.4	
	ほとんどあてはまらない	99	9.0	9.4	8.6	8.2	7.2	8.8	10.2	
無回答	8	0.7	0.7	0.2	0.7	0.0	0.7	0.0		
現在の生活に満足している	かなりあてはまる	56	5.1	4.0	6.7	3.4	5.2	5.5	4.1	
	ある程度あてはまる	218	19.9	16.4	25.7	21.9	34.0	18.3	16.3	
	あまりあてはまらない	439	40.1	40.0	40.3	42.5	28.9	40.6	42.9	
	ほとんどあてはまらない	379	34.6	39.4	27.3	31.5	32.0	35.5	36.7	
無回答	3	0.3	0.1	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0		
問27 これまで、ハローワークのほかに、次のような行政サービスや公的な支援を活用したことがありますか。(複数回答)	奨学金	非選択	649	59.3	60.3	57.8	56.8	68.0	60.0	51.0
		選択	420	38.4	37.9	39.3	39.0	28.9	38.1	46.9
		無回答	26	2.4	1.8	2.9	4.1	3.1	1.8	2.0
	授業料免除・減免	非選択	1015	92.7	93.6	91.6	92.5	92.8	93.3	87.8
		選択	54	4.9	4.6	5.5	3.4	4.1	4.9	10.2
		無回答	26	2.4	1.8	2.9	4.1	3.1	1.8	2.0
	失業手当	非選択	850	77.6	79.5	74.8	84.2	70.1	76.8	83.7
		選択	219	20.0	18.8	22.3	11.6	26.8	21.4	14.3
		無回答	26	2.4	1.8	2.9	4.1	3.1	1.8	2.0
	地域若者サポートステーション	非選択	1001	91.4	89.4	95.0	91.1	91.8	92.0	89.8
		選択	68	6.2	8.8	2.2	4.8	5.2	6.2	8.2
		無回答	26	2.4	1.8	2.9	4.1	3.1	1.8	2.0
ジョブカフェ	非選択	982	89.7	90.2	89.2	86.3	91.8	90.5	83.7	
	選択	87	7.9	8.0	7.9	9.6	5.2	7.7	14.3	
	無回答	26	2.4	1.8	2.9	4.1	3.1	1.8	2.0	
国または自治体の職業訓練	非選択	968	88.4	90.0	86.3	91.1	85.6	88.0	87.8	
	選択	101	9.2	8.2	10.8	4.8	11.3	10.2	10.2	
	無回答	26	2.4	1.8	2.9	4.1	3.1	1.8	2.0	
生活保護	非選択	1052	96.1	97.3	94.5	91.1	96.9	97.1	95.9	
	選択	17	1.6	0.9	2.6	4.8	0.0	1.1	2.0	
	無回答	26	2.4	1.8	2.9	4.1	3.1	1.8	2.0	
その他	非選択	1060	96.8	97.8	95.7	95.2	96.9	97.2	95.9	
	選択	9	0.8	0.4	1.4	0.7	0.0	0.9	2.0	
	無回答	26	2.4	1.8	2.9	4.1	3.1	1.8	2.0	
どれも活用したことはない	非選択	695	63.5	63.7	63.5	54.8	60.8	64.8	73.5	
	選択	374	34.2	34.5	33.6	41.1	36.1	33.4	24.5	
	無回答	26	2.4	1.8	2.9	4.1	3.1	1.8	2.0	
問28 中退時や中退後の就職支援に対する要望について、自由にご記入下さい。	省略									

## 自由回答分類

以下、付属資料として、ハローワーク調査における自由回答でのおもな記述を掲載している。1) 中退時に抱いた悩みや困難さ、2) 中退後の就職活動での困難さや不利益の経験、3) 中退時や中退後の就職支援に対する要望等についてである。

### 1) 中退時に抱いた悩みや困難さ（「問 17 中退したときに、悩んだことや困ったことはありましたか。具体的にご記入ください」）

有効回答数：621名（全対象者の56.7%）

#### （1）「中退決定・進学／中退したこと」（41件）

せっかく4年生まで進んだのに辞めたことに対して自分への怒りと、病気のため勉学に励むことができなかった悲しみ。（女性／28歳／大学）

高校時代の苦労が水の泡になったことと、卒業出来なかった後悔で、しばらくは精神的に落ちこんだ。（男性／23歳／大学）

本当に学校を辞めて良かったのか、友達と一緒に居たかったと後悔しました。（女性／20歳／大学）

当初は中退したくなくて、何か手段がないか悩みました。（女性／22歳／大学）

#### （2）「求職活動・仕事」（224件）

このままではろくに就職もできない。フリーターの肩書きが恥ずかしい。安定した立場になるまで知り合いに会いたくない。（女性／22歳／大学）

この先、中退した自分が安定した職業、または正社員として雇われていくことは、可能かと不安に感じた。（男性／21歳／専門学校）

思い切って中退したものの正社員として職に就けるのか不安でした。勉強はしてきたものの働く際に必要なスキル等は何もなかったので、ちゃんと働けるのか不安でした。（女性／25歳／大学院）

正社員になるのはもう無理かなと思った。学力的には専門や短大卒の人より良かったことも

あったので理不尽だと思って、学歴採用のところに応募しようとは思わなかった。少しずさんだ。無気力に悩んだ。(女性/34歳/大学)

正直すごく焦りました。学生ではなくなってしまうし、年齢的なものもあって、早く正社員にならないと！と空回りしてしまったので、不安をやわらげるようなセミナーを受けたかった。(女性/21歳/大学)

学生時代に就職活動をほとんどしなかったもので、最初の一步をふみ出すのに勇気が要った。(男性/24歳/大学)

大学における就活などの流れから完全にはみだしたので不安が大きかった。当時は安定した職に就きたいという思いしかなく、今思うと職や今後のキャリアの重ね方など、様々な方法を知っておくべきだったと思います。(男性/25歳/大学)

### (3)「将来展望・人生設計・社会復帰」(175件)

どうしてよいのかわからなかったもので、中退後どういう道があるのか知りたかった。(女性/21歳/専門学校)

もう普通に働いて、暮らしていくことは2度とできないと思っていた。(女性/24歳/大学)

今後の進路について、自分がこれからどうしていけばいいのか考えがつかなかった。単位不足の為中退後の目的もなしに中退してしまった為、本当は大学も続けて卒業したかった。明日に恐怖を感じるようになり、中退した後悔をなかなか受け止められなかった。(男性/22歳/大学)

自分の将来について悩みました。中退は本来なら望んではいみせんでしたが、しかし中退せざるを得なくなり、非常に苦しみました。大学の補助金・奨学金の充実を求めます。(男性/20歳/大学)

進路の道標は全く無く、何をすれば何をしたいのかが分からない。無駄な日々を変えるきっかけが欲しかった。(男性/22歳/短大・高専)

中退があまりにも急だったので、その後の進路について何も考えておらず、情報収集に時間がかかりました。(女性/22歳/専門学校)

中退したときは、自分はこれからどうなるんだろうという思いでとても不安になりました。精神的に不安定な状態だったので、メンタルのケアを受ければ良かったのかなと今までは思っています。(男性/23歳/大学)

中退した後、進むべき道が分からなくしばらく迷っていた時期がありました。中退したあとの人がどういう道を進んでいるのか、例などがあればもっと知りたかったです。(女性/20歳/大学)

#### (4)「再入学・復学・資格」(15件)

中退したあとのことについて悩んだ。仕事をみつけながら、資格取得(別の学校に行ったりもしたかったが)したいが、まず働かなければならなかったから困った。(女性/29歳/短大・高専)

突然やめてしまったから、自分でも悲しくて今後の将来が真っ暗に感じた。人間関係で挫折したため、次の新しい学校へ行きたいけども、仲良くグループワークができる自信がなかった。仕事に対しても同じで勇気がなかった。(女性/23歳/専門学校)

他の学校を受験したいと考え学校も決めていたのに、親に反対された為どうすべきか悩んだ。また、アルバイトをするにしてもどのような仕事がしたいのかわからず悩んだ。(女性/28歳/大学)

他の学校への入学のための資金。入学先の学校で自分が必要な事を学べるか。(男性/27歳/短大・高専)

#### (5)「人間関係・家族関係」(72件)

友人との人間関係や、親との人間関係にとっても悩んでいた。これで良かったのかと何度も思った。(女性/25歳/短大・高専)

中退した事を地元の高校時代までの友人や大学の知り合いに言えない。これから何をしたらいいのかわからなかった。(女性/22歳/大学)

周囲からの目が厳しくなったこと。「中退=悪いこと」という目で見られるため、友人の接し方も少し変わった気がする。(女性/22歳/大学)

推薦で入学させてもらったにも関わらず、入学後すぐに退学してしまったので、母校への罪

悪感と、親不幸の罪悪感がつらかった。(女性/33歳/大学)

家に帰りたくなかった。人に会いたくないので、考え事をしていても誰に聞いてもらえばいいかわからなかった。誰も信用できなくなる。(女性/30歳/大学)

家族や親族の理解を得られず孤立、精神的に追い詰められた。順調な友人に会うのが恐ろしくなり引きこもりがちになった。周囲の目を過度に気にするようになった。(男性/32歳/大学)

親は私を責めるばかりで、家に金を入れろとプレッシャーをかけ続け、しかし私には負い目があるので何も言えなかった。友達もいないので誰にも相談できず、悩みを抱え続けている。(男性/26歳/大学)

#### (6)「周囲(特に家族)への申し訳なさ」(34件)

学費を出してもらった親への申し訳ない気持ち。入学する前にしっかり考えて入学すべきと思った。(男性/28歳/大学)

親に迷惑をかけたくない、という気持ちが強く経済的にも負担になりたくないと思っていた。(男性/30歳/大学)

先が見えず不安だったがアルバイトでせいっぱいであった。なおかつ親に学費を出してもらい奨学金まで借りたのにそれをすべて投げ捨ててしまい、もうしわけないと思った。(男性/25歳/大学)

悩み、苦労は自己責任でしようがないと割り切った。ただ、中退後は実家での生活になり、両親・家族に申し訳なく苦しい部分であった。(男性/24歳/大学)

家庭が経済的に困窮していたので、にも関わらず入学させてくれた親に対して申し訳なく思った。(男性/28歳/大学)

#### (7)「相談相手」(26件)

教員や学生によるいじめやからかいの標的になってしまい、人と接することが難しかった。精神的に追いつめられた。大学の中で信用できる人がおらず、相談できなかった。(女性/29歳/大学)

学校へ入学し直したり、資格を取ったり再スタートを図りたかったが、相談出来る相手が少なく実際にどう動いたらいいか分からず、無駄に時間を費やしてしまった。(男性/23歳/大学)

相談相手が居なかった事。身近な知り合いでなくカウンセラーの方などに相談していたら良かったと思います。(女性/30歳/大学)

中退する前から心の不安や相談したい事は山ほどあったが、中退した事によりスクールカウンセラーへの相談もできなくなり、日々やるべき事が無くなって何も出来ない日々が続いた。(男性/24歳/大学)

これから具体的にどうすればいいのか、全く分からなかったので相談したかった。親には全く相談出来るような状況でなかった。(女性/38歳/大学)

やりたいことが見つからず、どこにも籍を置いていない状況で進路の悩みを聞いてくれる機関等があれば良かったです。(女性/22歳/大学)

自分に何ができるのかわからなかった。何もできないと思ってアルバイトを続けた。誰に相談していいのかわからなかった。誰にも理解されなかった。お金を稼ぐにはどうしたらいいのかかわからなかった。(女性/33歳/大学)

就職の情報収集する為に相談できる機関やサービスをあまり知らなかった。(男性/36歳/短大・高専)

#### (8)「金銭面・奨学金返済」(54件)

これからどうやって親にお金を返していくか、どうすればお金を稼げるか。(女性/18歳/大学)

奨学金で生活していたので、生活が苦しくなること。(男性/24歳/大学院)

奨学金返済で困ってた。(男性/22歳/大学)

生活費、出産費、養育費(女性/28歳/大学)

**(9)「精神面・病気」(29件)**

うつ状態で何もやる気がおきず、適切な判断能力がなかったため、中退のデメリットなどを考えていなかった。相談する相手が親しかおらず、その親もどうしたらいいのかとまどったまま、中退後のフォローなど具体性がないまま決めてしまった。その場しのぎの決断となっていた。そのため長く自宅にひきこもっていたので社会復帰に時間がかかった。(女性/26歳/大学)

経歴に傷がついたと周囲から言われたりした。精神的な負担が大きかった。(女性/26歳/短大・高専)

現状の辛さ(合わない勉強を続けていくこと)から、一先ず抜け出したいという思いで安易に中退という道を選んだが、その後どうすれば良いのか自身でも分かっていなかったし、周囲も具体的にアドバイスをしてくれるような人間がおらず、『働け』とだけ言われ続けて、精神的に追いつめられていたのが本当にきつかった。(女性/32歳/大学)

今後どうしたいか全く分からなかった。心療内科に通いうつと診断されたが、親にもあまり理解されていないと感じ、どこに相談したら良いか分からなかった。中退が原因で、今後の就職にも影響があると親に言われ、肩身が狭く感じた。(女性/29歳/短大・高専)

**(10)「自分自身」(17件)**

自己嫌悪(男性/22歳/専門学校)

自分が欠陥品で、社会の一員となることが出来ないのではないかと悩んでいました。(男性/29歳/大学院)

自分は人間のクズだと悩んだ。どういった仕事につけるのか不安になった。(女性/26歳/大学)

**(11)「学歴」(23件)**

学歴にキズがつくこと。しかし、後悔は覚悟の上でした。(男性/24歳/大学)

高卒という肩書きでやっていけるか不安。やりたいことがツブレた時に補てんがきくか。(男性/22歳/大学)

大学受験に向け一生懸命勉強をし、高校でもトップクラスの成績を残したが、結果中退した

事で学歴は高卒、年齢だけ増えてしまった。新卒でもなく、努力した事がむくわれないと実感。奨学金の返済も大変です。(男性/22歳/大学)

中退して学歴も無くどうやって生きていこう…。(男性/25歳/大学)

#### (12)「世間体・イメージの悪さ」(32件)

「中退」という言葉の、世間における印象の悪さ。(男性/28歳/大学)

「中退」という言葉の重み。私は自分、他人にかかわらず気にしないが、周りは気にするようだった。(ように思ってしまった)(男性/39歳/大学)

身から出た錆とは言え、大学を卒業して新卒で就職するというレールから外れた人間に、日本の社会は冷たいということを実感した。(男性/26歳/大学)

生きる事に無気力になってしまった自分と、そうなってしまった自分に対する周囲の目にずっと悩んでいた。(男性/31歳/大学)

中退というのは悪いイメージがあるので、その状態で働くことができるのか、受け入れてくれるところが本当にあるのかということ。(女性/23歳/大学)

#### (13)「その他」(23件)

一人暮らしだったので、そのままの土地に住むか、地元に戻るか。(男性/30歳/大学)

社会と接することが激減した。(女性/34歳/大学)

頭が真っ白で、何も考えていませんでした。(女性/24歳/短大・高専)

様々ありすぎる為、書ききれません。(男性/29歳/大学)

#### (14)「特になし」(29件)

中退して気分がスッキリしました。(女性/20歳/短大・高専)

家庭の事情による中退だったので、特に悩まずに決めた。後に大卒は取りたかったと後悔したこともあった。(女性/27歳/大学)

自分で決めた事なので悩みも、困った事も特にはありません。(男性/20歳/大学)

正社員で働くことが決まっていた為、特になしです。(男性/27歳/大学)

他にやりたいことをしていたので特に問題はなかったのですが、中退してから三、四年ほどして金銭的に、社会地位的に悩むことが多くなりました。(男性/25歳/大学)

## 2) 中退後の就職活動での困難さや不利益の経験(「問8 中退後の就職活動中に、何か困ったことや不利益を感じたことはありましたか。ある方は具体的にご記入ください。」)

有効回答数：468名(全対象者の42.7%)

### (1)「求職活動(履歴書の書き方など)」(33件)

後ろ盾がないのでどのように始め、どのように探せばいいのか分からなかった。(男性/25歳/その他・無回答)

新卒の就職活動の仕方は、調べなくても自然と耳に入ってくるが、中退したら何をすればいいのか何も分からなかった。(男性/20歳/大学)

根本的にまず何をしたらよいか分からない。何が必要で、どんな職業があるのか、ハローワークに「就職したい」と突然行って大丈夫なのか、無からのスタートなので申し訳ないと思ったが、まず相談・話しが出来るところが欲しいと思った。(男性/26歳/大学)

就職活動の仕方が分からなかった。相談出来る相手がいなかった。知識不足。自信が持てず、面接を受ける勇気が出なかった。(女性/21歳/大学)

大学のようなきめ細やかな就職支援サービスがあればスムーズに応募先を決定したり、不安をとりのぞくことが出来るのになあと感じていました。(男性/25歳/大学)

### (2)「求職活動(手段・資源)」(27件)

マイナスにとられる。周囲はまだ大学生モードの中で一人で就職活動してくのも情報を集めるのも苦勞。自動車免許がなければ、仕事先がほぼ皆無だった。中退後は免許取得までのお金がなく生活・就職活動両面でとても苦勞した。(男性/25歳/大学)

生活費を稼ぐ必要性から、希望する仕事への就職活動や必要な勉強をする時間を確保し辛い。

(男性／27 歳／大学)

なかなか正社員で働きたいと思えなかった事。アルバイトだけだと、なかなか就活する時間もお金もない事で、アルバイト生活から抜け出せない事。それにともない、正社員で働く事が少しずつ遠のいていくと感じた。なかなか、中退した理由を説明しづらく、理解されにくかった。(男性／31 歳／大学)

収入がない。親からの援助もない状態であった為、応募先の面接地へ出向く際の交通費や応募書類の郵送代を捻出するのに苦労した。(男性／23 歳／大学)

正社員として雇用してくれる所を探す事が大変でしたので、派遣やアルバイトでつないでいました。フルタイムで働いていたので、その中での就活は時間的に難しかったです。(女性／36 歳／大学)

学校を中退したという事実から、企業側から仕事をして長く続かないのではと思われた。または言われた。就職支援を受けようにも制限が多かったように感じた。(男性／36 歳／専門学校)

仕方ない事ではあるが、大卒以上や短大卒以上を求めてくる企業や職種が多い。ハローワークや関係各所から支援等があまり無いように感じられる。(男性／23 歳／大学)

### (3)「応募(学歴条件、選択肢限定)」(198 件)

経験や能力があっても大卒ではない為、応募出来ない事があった。経緯を説明しても、中退を理由に不採用とされた。資格取得時に条件が不利で選択の幅が狭まる。書類審査を通過出来ない事が多い。(男性／32 歳／大学)

専門職は、学歴や経験不問が少ない事。工学部に入ったからと、一般事務より専門職を勧められるが、上記の事態になる事。(男性／27 歳／大学)

ある程度仕事の経験を積み、特定分野については自信を持っており、充分対応可能だと思っている職が大卒以上という学歴制限で応募出来なかった事。(女性／39 歳／大学)

新卒入社しないとこんなにも会社に入りづらいものなんだと思った。大学卒業してないと、応募要件にもならない企業が多くて残念だった。(女性／24 歳／大学)

大学中退だと高卒扱いで年令的に負けてしまうところがあるが、大学入学の実績も企業側には考慮してもらいたい。(男性/24歳/大学)

応募資格で、四大卒以上・大卒以上等記載されている事が多く、受ける事が出来ない。自分の学歴が会社によって異なる為、扱いがわからない。(男性/24歳/大学)

就職活動中、企業の応募資格に大卒以上と見かける事があった。やはり学歴はあった方が得なんだと、その場の考えで中退してしまった自分に後悔した。(男性/25歳/大学)

やはり大卒以上の募集の求人が多数あり、興味を持った求人に応募出来ない事が多々ある。(男性/24歳/大学)

最近では学歴にこだわりのない企業が多くなったが、一部の企業では大卒以上の学歴にこだわっていて、応募できなかったこと。(女性/29歳/大学)

書類選考は、ほとんどの確率ではじかれる。なので、面接しかないところを探してしまう。分かっていた事だけど、会って人柄や思いを知って欲しい!と思ってました。(女性/21歳/その他・無回答)

学歴が大卒以上の求人には応募出来ない点に不利益を感じる。結果として就職のチャンスも少なくなる。(男性/33歳/大学)

学歴が下がり求人が見つけにくい。半分程度が転職あつかいや、実務経験があるところが多い。(男性/21歳/大学)

#### (4)「面接(中退理由説明)」(112件)

①雇用条件に「大卒・短大卒」という学歴が必要な職だと、「働いてみたい」と思った職業でも応募出来ない事。(自分で中退する事を選んだので、自業自得だなと思うのですが…) ②面接の時に必ず「中退した理由」を聞かれる事。精神的な事が理由で中退したので、どうにも答えづらいのです。(女性/27歳/大学)

自分の中では前向きに中退したつもりだが、企業側から見た時にはマイナスでしかなく、理由等をしつこく聞かれる事が多かった。(男性/27歳/大学)

中退した理由を聞かれ、相手側から不信に思われるため、今までは中退したことを履歴書に

書かないようにしていた。(女性/30歳/大学院)

空白期間が長過ぎて、面接の際には絶対に聞かれるし、うつ病のために本当に何の活動もしていない期間だったため、自身も引け目を感じて、それが自信のなさに表れてしまうし、面接官に全く相手にされていないのを感じる。(女性/32歳/大学)

私は大学院中退です。中退の理由をしつこく聞かれます。理由を説明しても、納得してくれない企業がほとんどです。ただでさえ、就活は精神的に負担がかかるので、それにプラスアルファで中退理由を聞かれ、納得してもらえずきつい言葉を言われるのはつらい。いろいろ悩んで中退したのに、落ちこぼれというレッテルを付けられている気がします。(男性/25歳/大学院)

社会全体的に「中退」は否定的に捉えている。面接等でどんなに仕事に対してのやる気を伝えても評価されない。紙に書かれた学歴が重視されてしまう。残念ながら。(男性/29歳/専門学校)

面接で、「なぜ大学を辞めたのか」から話が始まる。(中退後すぐの頃。社会経験がないからか)中退=仕事もろくに続けられないのではという先方の思いが見てとれるような企業もあり、大学中退より高卒の方が就職に有利なのだと思います。中退の理由は経済的理由など人それぞれなのに、人の痛い所について、話を掘り下げる面接官もいるのが現状。(女性/28歳/大学)

中退をしているので長続きしないと思われたり、卒業証書がないと一人前でないと見られたり、いくら資格を持っていても経験がないと言われたりと、面接によっては厳しいご指摘をいただきました。(男性/38歳/大学)

たくさんの理不尽を感じた。中退理由をしつこく聞かれた。慣れるまで5年以上かかった。なぜ卒業まで我慢しなかったのか強く聞かれた。卒業することが一般常識である人が人事にいたので、理由に納得してもらうのが苦痛。(男性/32歳/大学)

中退したことで、面接に行った時にも「なぜ辞めたの？」といつも言われること。学校を辞めてから感じたのは、学校に行っている間は守られていたんだと強く感じた。(男性/21歳/大学)

面接時に必ず中退の理由を聞かれ「もったいない」と言われることが多く、その事が大きく

就職活動に影響があるのでは、と不安を感じている。(女性/25歳/専門学校)

**(5)「雇用条件(給与など)」(11件)**

やはり学歴が無いので選べる仕事や給料が低い。(男性/22歳/大学)

公務員試験における大卒の条件。初任給が高卒程度になってしまう。(大卒と比較してマイナス3~4万円)(男性/25歳/大学)

学歴の差による給料の差。(男性/23歳/専門学校)

**(6)「資格・職歴」(60件)**

職務経歴：勤続年数が短いので書ける程の内容が無い。年齢・学歴：経験不問と募集に書いてあってもほとんど電話をした時点で門前払いされる。(男性/38歳/大学)

資格を取得する必要がある場合、卒業していないために取得できなかつたり、学位をもっている人より、お金や時間がかかる。(女性/29歳/大学)

長い間働いていないので、強みもないと中々採用してもらえないのではないかと。(女性/21歳/短大・高専)

経歴や資格がない事から諦めた仕事がある。(男性/27歳/大学)

看護師と保健師の資格がとれる学校を中退してしまったので、卒業して資格を取れていれば好待遇で働けていたのかなと後悔してしまうことがありました。(女性/20歳/専門学校)

大金を支払って専門学校に行ったので、国家資格を取得して卒業すれば良かったと思う時がある。学校の選び方をもっとしっかり検討して決めれば良かったと思う。そうすれば、お金の無駄にもならなかったし、もっと自分自身の夢に対して遠回りしなかったと後悔している。(女性/20歳/専門学校)

新卒であれば未経験で当たり前だが、中途採用しかないのでは、経験有無の壁が大きい。(男性/21歳/大学)

職歴がない為、実務経験優先の中途採用では不利になってしまう事。(女性/23歳/大学)

専門学校を卒業していたら就職活動をスムーズに行えていましたが、中退をして資格もないままの状態、何の仕事が向いてるか分からなくなり、日々を無駄にすごしてしまい将来が不安で困っています。(男性/21歳/専門学校)

#### (7)「精神的ダメージ・不安・心配・意欲減退」(42件)

不利益はないが、自身で引け目を感じてしまい、積極的に正社員での求職をできなかった。

(なんとなく、という気持ちで辞めてしまったので、明確な理由を聞かれると困ってしまう事があった)(女性/28歳/大学)

自宅ですごしていた時間が長く、生活サイクルも乱れていたため、規則正しい仕事につくことへの不安が大きいのが困った。学歴不問のアルバイトばかり目につくようになる。(正社員(フルタイムの仕事)を最初からあきらめる)(女性/26歳/大学)

中退という形がやはり印象が悪いし、高卒になる為仕事選びの幅が狭くなる。一回レールから外れるとこれから就職活動する！勉強する！というモチベーションを維持しにくい。(男性/23歳/大学)

学籍がない「無職」の状態であるため気持ちが不安定になる。「中退」「退学」の経歴が予想以上に不利だった。(女性/31歳/大学院)

どんな状況でも途中で辞めてしまった事が精神的にネックになって、求人を見てきちんと勤められるのか自信がありません。また途中で辞めてしまわないかと不用意に考えてしまい、正直就活自体がおっくうになりがちになってしまう。(女性/23歳/短大・高専)

挫折者に厳しい社会だと感じています。私の場合、病気で中退せざるをえなかった事もあり、将来への不安、現実を受け入れる事に時間を要しました。(男性/27歳/大学)

家庭の事情とはいえ、後ろめたさや就活への自信がなくなる。(男性/25歳/大学)

#### (8)「印象・イメージ・不利な扱い」(55件)

「大学を中退した」という世間でのイメージの悪さが想像以上に大きい。途中で投げ出したというイメージがあるようです。高校卒業後就職した方々より、学費をはじめ勉学等、より多く力を費したが、就職活動では高卒より下に見られる実感があります。(男性/22歳/大学)

1度入った学校を中退するという、世間の方々から見ると中途半端なことをしている自覚があるので、その点が面接で不利になるのではないかと不安で、一步ふみ出せない時期が長く続いてしまいました。(女性/24歳/短大・高専)

中退イコールマイナスイメージを持たれてしまう事。次へのステップとして中退を選んでいるのに、理解されない事も多々ありました。(女性/29歳/大学)

大学中退という肩書に対する、世間の目の厳しさ。(女性/24歳/大学)

どんなに理由があっても中退したとしても、継続する力がないと見られる。(女性/26歳/大学)

#### (9)「その他」(31件)

大学を中退したことによって、勉強を中途半端に終えてしまって、無学だと感じる。(男性/22歳/大学)

中退後、大学とはまったく別の職種をしていましたが、また大学の頃していた勉強の仕事に就きたくなったので、中退せずしっかり大学を出て就職すれば良いと思いました。(男性/28歳/大学)

何がやりたいかが分からなくて、なかなか仕事を選べなかった。(男性/25歳/大学)

自分に合った仕事が見つけられるか。働ける場所があるのか。(男性/18歳/専門学校)

アルバイトでは収入が少なく、正社員を目指したいと思った。(男性/22歳/大学)

### 3) 中退時や中退後の就職支援に対する要望等(「問28 中退時や中退後の就職支援に対する要望について、自由にご記入下さい」)

有効回答数：360名(全対象者\*の32.5%) \*40代以上含む

#### (1)「相談・サポート体制の充実」(98件)

まず最初にすべきことが何なのかがわかる仕組みがほしい。(20歳・男性)

中退という立場で何が出来るのか(職に就くまでに何をしたらよいのか)を教えて欲しい。

(21歳・男性)

中退時専用の学生支援コーナーが設けられているのは、経験不足を補う、学歴不問の職業先を見つけてくれる、手助けをしてくれることはとても助かりました。また、職務経歴書の作成方法や添削も、今後の就職活動に向けてとても参考になりました。(21歳・男性)

中退する人の大半は自分が何をしたいのか、何ができるのか、どうしたいのか、先が見えないのだと思います。不安であるけど心のどこかで「どうにかなる」だろうと考えている人もいるでしょう。なので先の事、今後の事をはっきりさせる事が大事だと思います。それが出来るマンツーマンでの相談を増やした方が良いのかもしれない。

(25歳・男性)

わかものハローワークの支援プログラムのおかげで、正社員雇用にたどりつけました。やはりマンツーマンでの親身な相談は個人的には非常にありがたかったです。(29歳・男性)

ハローワークは少しハードルが高かった。親にすすめられていたが、入るのに中々勇気が必要だった。(19歳・女性)

中退しても進める道があるのだと、資格取得や別の進学、正規・非正規に定まらない就職支援など、多面的なサポートをしていただけたら助かったと思います。(25歳・女性)

当方の場合、ハローワークは知らなかったし、知っても職を探すことにながつかないようなイメージで、あまりハローワークに行きたくないと思っていた。昔の「職安」っていう言葉を知っているからかもしれない。今は明るいイメージになったと思う。ただ、知り合いには会いたくないなと思いながらハローワークに行っている(24歳・女性)

## (2)「支援機関や相談機関の周知や拡充」(31件)

中退時に就職支援に関する情報がほとんどなかったもので、どのような機関があり、どのような支援が受けられるのか周知してほしい。(36歳・男性)

自分は専門学校を中退してから、就活の知識がゼロのまま、とりあえずまずはハローワークに行こうと思い立って行きました。ハローワークに行くと初めて若年者サポートコーナーというものを知りました。就活についてすごく悩みましたが、若年者サポートコーナーの担当者の方が自分の話をちゃんと聞いてアドバイスして頂けたのですごく助かりました。なので学校を中退された方で、これから初めて就活をする人に向けて、ハローワークに

は若者向けにどのような事業があるのか、行政としてはどのような事業があるとか、もっと分かりやすくしてくれるといいなと思います。(23歳・女性)

もっともっと色んな場所で「就職支援」というものがあるというポスターでも何でも、人の目につくようにしたらいいと思う。いろいろな支援があるとは思いますが、その情報をなかなか知る機会は無かった。私は母親が色々教えてくれたので知ることも多かったです、そんな若者は多くないです。(25歳・女性)

### (3)「職業訓練・インターン・トライアル雇用」(34件)

職業訓練の内容や、訓練をメリット、その後の就職までの流れの一例をわかりやすく説明してほしい。(27歳・男性)

大学と連携をとることで、中退をした人々へ様々な就活方法をまとめた資料(職業訓練のパンフレット等)が送られると良いと思います。その後の道がわからずに何も出来ないでいる人が少しは減るのではないのでしょうか。(28歳・男性)

もう少し職業訓練の職種を増やした方がいいと思う。(25歳・女性)

中退した時に職業訓練の情報を知りたかったです。中退から正社員就職をするのは難しいし、勇気がいります。2014年4月～9月まで職業訓練を受けて自分に少し自信がついたと思います。このタイミングで受講して良かったと思っていますが、もう少し早く知りたかったですね。(29歳・女性)

就労支援施設(若者向け?)に通って、生活リズムをつくって社会参加(復帰)したかった。仕事の体験など。集団生活になじめるプログラム。(寮?とか) (年齢・性別不明)

### (4)「中退者に対する企業の評価への不満」(32件)

応募資格に学歴をもとめる場合は、理由を明記してほしい。仕事によっては、なぜ大卒以上でなければならないのか理解出来ないし、企業も明確な理由でない場合もあると思う。(24歳・男性)

何をもって中退を学歴としていないのかを明確にするべき。面接まで行けば事情や高校などを考慮してくれる会社もあるが、専門外でも専門卒を募集しているのに中退者は応募もできないのは何故か。専門学校などはピンキリなのに何故四大中退はダメなのか。きちんと明示するようにしてほしい。納得できない。(34才・女性)

**(5) 「中退時点での情報提供」(27件)**

中退する人間は大抵就職活動に手を付けておらず、アルバイトか職なしが多いのでは？手続き等あっさり終わった記憶があるので、各大学が中退時の就職支援組織への紹介ぐらいいはあってもよかったと思う。(30歳・男性)

中退が決まった時に学校からでもいいので、ハローワークの案内や就職支援の情報を知りたい。(20歳・女性)

中退した時何も誰も教えてくれなかった。届けを出した事務所でも仕事するならハローワーク行くとかの一言、大学中退しても行ける就職先あるとか、支援だったり何か一言でも欲しいです。(26歳・女性)

**(6) 「心のケア」(26件)**

私のように、心に深い傷を持ち自信を持ってない人々がいる。ハローワークを利用しているが、面談時にそういった心の悩みも考慮して対応して欲しい。時折、それをなまけと捉えられる事があり、支援する側・される側の間に隔たりを感じる。(22歳・男性)

中退者には繊細な人が多いと思うので、心のケアや社会復帰しやすい環境を作るべきだと思う。(ハローワークとサポートステーションを連携して支援) (27歳・男性)

心理的に落ち込んでいるので、心の相談窓口がもっとあるといいな。就職斡旋の他にも様々なサポートがあることも教えてほしい。e x. 就活クラブ等、中退者同士で集まって就職へ向けての勉強会みたいなものもあるといいな。(23歳・女性)

**(7) 「資格取得支援」(19件)**

中退後、他の学校への進学を目指さない場合、資格等を取得し中退の穴埋めをしていくしかないかと思っている。(25歳・男性)

中退したことで不利になる事が多くあるので、資格取得の支援や仕事の経験がないことを補えるような支援があれば、と思います。(20歳・女性)

**(8) 「履歴書書き方等就職活動ノウハウの提供」(16件)**

就活のしかたを具体的に教えてほしい。(22歳・男性)

中退後は履歴書の書き方・職務経歴書の作り方などを教えて頂けるとありがたいです。経歴

は人それぞれなのでその人にあった書き方を一緒に見てもらえるとよいです。また、担当される方によっていい方・やり方・アドバイスも違うので、学校中退して初めてハローワークにくる方は担当制にされたらよいのではないかと思います。私は転職する時いろんな人とあたり、良い人もいれば悪い事しかいわない人もいて、どのアドバイスを信じればよいかわからない時がありました。今は同じ人に担当して頂き、相談しやすいですし、理解して頂けるので担当制にしてよかったので。

(28歳・女性)

#### (9)「収入支援」(15件)

失業手当で以外の中退者向けの金銭的支援があるとうれしいと思った。働きながら就職活動をする、自分自身を考える時間があまり取れないのと、お金がないと行動が制限されてしまうことがあるから。(26歳・男性)

学校を退学してしまったのは自分なのですが、お金がかかる事が割とあるので、バイトが忙しくあまり就職活動が満足にできていない。(20歳・女性)

#### (10)「仕事が欲しい」(14件)

大学を中退した人でも積極的に採用して下さる企業が増えればよいと思います。(25歳・男性)

中退でも採用してくれるところを紹介してほしい。(38歳・女性)

#### (11)「積極的な後押し」(8件)

中退時には、速やかにハローワーク等に紹介したり、何らかの支援をするべき。(22歳・男性)

積極的に案内をして欲しい。そもそも相談者は知らない事の方が多いと思うので(実際、私は中退当時、職業訓練という物がある事すら知らなかった)良いサポートがあるのであれば積極的に提示して頂けると助かる。(31歳・女性)

#### (12)「学業への復帰」(8件)

中退前に取得した単位を持ちこして、他大学への編入の資料の充実、求職中に仕事を探しながら働けるような場所の斡旋。(30歳・男性)

私は薬学部の4年生分の単位はあります。7年目の在籍で中退となりましたが、大学に短大

の設定がなく、大卒はもちろん短大卒の資格も得られず、高卒の学歴というのがなんとかならないのかなあとと思います。(25歳・女性)

(13)「中退者向けの合同説明会・セミナー」(7件)

中退者は積極的に何かをする事は少ないと思います。強制ぎみにでも説明会等の参加をよびかける事も重要だと思います。(29歳・男性)

卒業する人にはいろいろなセミナーが用意されているのに、中退者には何にもないので、中退者向けの就職説明会や進学セミナーなどのサービスが欲しい。(37歳・男性)

中退者向けの就職セミナー等があったら受けてみたかった。(33歳・女性)

(14)「その他」(49件)

自営や独立に向けて相談しやすい機関が増えると良いと思います。(22歳・男性)

自分はハローワークという物がどんな物か知らず、初めて行きましたが、とても親切に接してくれました。(22歳・男性)

中退者が集まってレクリエーション等、交流の場が欲しい。(22歳・男性)

中退する理由は人それぞれですが、前向きに次を見すえてやめる人と後ろ向きな理由の人がいると思います。私の場合は後者でしたが、両親の保護の下、主治医の先生に支えてもらって、社会復帰が叶いました。でも、何らかの理由でやむを得ず中退して、経済的にも精神的にも切迫した状況の人もあります。そういった人の心の状態に沿うような支援をして欲しいと思います。若い人の自殺者が増えているとよく聞きます。自分のことのように胸が締め付けられる思いです。もっと色々な生き方が認められる風潮が、育てばいいなと思います。とにかく自殺する人が少しずつでも減って行って欲しい。私もできることをしたいです。(いじめ、パワハラ、アカハラはなくなるだろうけど)

(29歳・女性)

(15)「特になし」(14件)

要望はないです。ハローワークは今後も使わせてもらいます。(27歳・男性)

特にないです。窓口で相談に乗ってもらえるので大変助かっています。(21歳・女性)

## 大学等を中途退学された方の働き方と意識に関する調査

### I あなたの就職活動についてお尋ねします。

問1 ハローワークを利用しようと思ったのは、いつ頃ですか。また、どのようなきっかけでそう思いましたか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

利用しようと思った時期	1. 中退する前 2. 中退したあと ⇒ 中退から約( )か月後
きっかけ	1. ホームページ(どこのHPですか: ) 2. 親 3. 友人 4. 学校 5. その他(具体的に: )
就職登録した時期	現時点から 1. 1か月以内 2. 2～3か月前 3. 4か月～半年前 4. 半年～1年前 5. 1年以上前

問2 ハローワークのほかに、どのような方法で仕事を探していますか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 求人広告・雑誌を見る	2. 求人情報サイトを見る	3. 家族や友人・知人に紹介を頼む
4. 民間の職業紹介会社に登録する	5. 派遣会社に登録する	6. その他(具体的に: )

問3 これまで、何社ぐらいの企業で採用面接を受けましたか。⇒ ( )社

問4 応募先を決める際に、どのような条件を重視していますか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 企業の業種・仕事内容	2. 企業の知名度	3. 企業の将来性・安定性
4. 正社員かどうか	5. 勤務時間・休暇・福利厚生	6. 給料
7. 地域条件(勤務地・転勤の有無)	8. 自分の能力や適性と合っていること	
9. 学歴不問であること	10. 経験不問であること	
11. その他(具体的に: )	12. どのような条件でもかまわない	

問5 現在、就職活動のほかに、何かしていますか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

1. 就職活動のみをしている	2. 就職活動中だが、非正規雇用で働いている
3. 就職活動中だが、正規雇用で働いている	4. 就職活動中だが、進学や資格取得のために勉強している
5. その他(具体的に: )	

問6 学校を中退してからこれまでを振り返って、次のような働き方や無職を経験したことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。なお、学生として正規の課程に在学していた時代の無職やパート・アルバイト経験は含みません。

1. 1ヶ月以上無職だったことがある(学生や主婦ではなく)	2. これまで働いたことはない		
3. パート・アルバイト	4. 契約社員・嘱託	5. 派遣社員	6. 正社員・公務員
7. 自営・家業	8. その他の働き方(具体的に: )		

問7 中退してから、最初に就職活動を始めるまで、どのくらいの期間がたっていましたか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

1. 中退する前から	2. 3か月未満	3. 3か月～6か月未満
4. 6か月～1年未満	5. 1年～3年未満	6. 3年以上

問8 中退後の就職活動中に、何か困ったことや不利益を感じたことはありましたか。ある方は具体的にご記入下さい。

1. ない	2. ある:具体的に

## Ⅱ あなたの学校時代についてお尋ねします。

問9 あなたが最後に在籍した（中退した）学校について教えてください。

学校所在地	( ) 都・道・府・県			
学校の種類 ○は1つ	1. 専門学校	2. 短大	3. 高専	
	4. 大学	5. 大学院	6. その他（具体的に： )	
学部・専攻	具体的に ( )			
入学志望度 ○は1つ	1. とても志望していた	2. まあまあ志望していた		
	3. あまり志望していなかった	4. まったく志望していなかった		
入試方法 ○は1つ	1. 一般入試（センター入試含む）	2. A0入試	3. 指定校推薦	4. 公募推薦
	5. 附属・系列高校から進学	6. その他（具体的に： )		

問10 あなたは、その学校に通っていたとき、おもにどこにお住まいでしたか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

1. 実家	2. アパートなど（一人暮らし）	3. 学生寮など	4. その他 ( )
-------	------------------	----------	------------

問11 あなたは、その学校に通っていたとき、次のことをどのくらい熱心におこなっていましたか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	とても熱心だった	まあ熱心だった	それほど熱心ではなかった	まったく熱心ではなかった
A 学校での授業	1	2	3	4
B クラブやサークルでの活動	1	2	3	4
C 友だちや恋人との付き合い	1	2	3	4
D アルバイト	1	2	3	4
E ダブルスクール・資格取得	1	2	3	4

問12 中退したのはいつですか。中退した時期と学年、また、中退を考え始めてから中退するまでの期間について教えてください。

A 中退した時期	西暦 ( ) 年 / 平成 ( ) 年 ( ) 月
B 中退したときの学年	( ) 年生
C 中退を考え始めてから、実際に中退するまでの期間	1. 1か月未満    2. 1～3か月未満    3. 3か月～半年未満    4. 半年～1年未満    5. 1年以上

問13 あなたは、なぜ中退しようと思いましたが、あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 勉強に興味・関心が持てなかったから	9. ほかにやりたいことがあったから
2. 遅刻や欠席が多かったから	10. 病気やケガがあったから
3. 単位が不足したから	11. 経済的に苦しかったから
4. 教員とうまく関われなかったから	12. しばらく休みたかったから
5. 友達とうまく関われなかったから	13. 妊娠・出産をしたから
6. 自分の生活リズムが学校と合わなかったから	14. 特に何もなかった
7. 通学するのが大変だったから	15. その他（具体的に： )
8. 仕事をしたいと思ったから	

問13-1 上記の1から15の中で、最も重要な理由の番号を ( ) 内にご記入下さい。 ( )

問14 中退を決めるまでの間に、誰に相談しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

1. 親・保護者	2. 同じ学校の友人	3. 学校外の友人	4. 兄弟姉妹
5. 恋人・配偶者	6. 先輩	7. 学校の先生・職員・カウンセラー	
8. これまで卒業した学校（小・中・高校・予備校など）の先生など			
9. 公的な支援機関（具体的に： )			
10. その他（具体的に： )			
11. 誰にも相談しなかった			

問 15 中退した直後にしたいと思ったことは何ですか。また、実際には何をしていましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

A 中退した直後にしたいと思ったこと	B 中退した直後に実際にしていたこと
1. 他の学校へ入学したい	1. 他の学校へ入学するため勉強した
2. 資格を取得したい(資格名 )	2. 資格取得のための勉強をした
3. 職業訓練を受けたい	3. 職業訓練を受けるための準備をした
4. 正社員として就職したい	4. 正社員として就職するための活動をした
5. アルバイトをしたい	5. アルバイトを探した
6. 在学中から行っていたアルバイトを継続したい	6. 在学中から行っていたアルバイトを継続した
7. 特に何も考えていなかった	7. 特に何もしなかった
8. その他(具体的に: )	8. その他(具体的に: )

問 16 中退したとき(中退の前後約1か月くらい)に、知りたかった情報や受けたかった支援は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

A 中退したときに知りたかった情報	B 中退したときに受けたかった支援
1. 他の学校への入学に向けた情報	1. 他の学校への入学に向けた情報収集支援
2. 資格取得のための情報	2. 資格取得のための情報収集支援
3. 職業訓練の情報	3. 職業訓練を受けるための相談支援
4. 仕事探しの相談をするための支援機関等の情報	4. 仕事探しの相談支援
5. 心の悩みを相談するための支援機関等の情報	5. 心の悩みに係る相談支援
6. その他(具体的に: )	6. その他(具体的に: )
7. 特に知りたい情報はなかった	7. 特に受けてたい支援はなかった

問 17 中退したときに、悩んだことや困ったことはありましたか。具体的にご記入下さい。

問 18 中退してから今までの間に、どのようなことをしてきましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。また、その結果について、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

活動内容		結果
1 正社員として就職するための求職活動	⇒	1. 正社員になった 2. 正社員になっていない
2 正社員以外として働くための求職活動(学生時代からのアルバイトを除く)	⇒	1. 仕事を得的 2. 仕事を取得していない
3 他の学校へ入学するための勉強・準備	⇒	1. 入学した 2. 入学していない
4 資格取得の勉強・準備	⇒	1. 資格を取得した 2. 資格を取得していない

### Ⅲ あなたの高校時代のことについてお尋ねします。

問 19 あなたの高校について教えて下さい。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

A 所在地	1. ( )都・道・府・県	2. 海外	3. 大検	4. その他
B 学科	1. 普通科	2. 専門学科(商業・工業・農業など)	3. 総合学科	4. その他(具体的に: )
C 課程	1. 全日制	2. 定時制(おもに夜間の場合)	3. 定時制(おもに昼間の場合)	4. 通信制

問 20 進学する学校を選択する際に、次のことがどれくらいあてはまりましたか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。なお、大学には専門学校、短大、高専を含めます。

	よくあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
A 大学や学部を選ぶときに、卒業後につきたい仕事のことを考慮した	1	2	3	4
B 大学に行けば、将来自分がやりたいことが見つかると思った	1	2	3	4
C 目的はあまり考えずに、とりあえず大学に進学してみようと思った	1	2	3	4

問 21 高校時代の生活はどうか。それぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	とてもよかった	まあよかった	あまりよくなかった	まったくよくなかった
A 出席状況	1	2	3	4
B 学校の成績	1	2	3	4
C 部活動への取り組み	1	2	3	4

#### IV あなたご自身についてお尋ねします。

問 22 あなたの性別  1. 男性  2. 女性 あなたの年齢  歳

問 23 現在、あなたは、誰と一緒に住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- |                                     |             |            |
|-------------------------------------|-------------|------------|
| 1. 両親・兄弟姉妹                          | 2. あなたの結婚相手 | 3. あなたの子ども |
| 4. その他（具体的に： <input type="text"/> ） | 5. ひとりで     |            |

問 24 現在、あなたは、結婚していますか（事実婚も含みます）。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

- |           |  |
|-----------|--|
| 1. 結婚している | 2. 結婚していない ⇒ 1に○をつけた方：結婚した時期 西暦（ <input type="text"/> ）年 |
|-----------|--|

問 25 現在、おもに誰の収入によって生活していますか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

- |          |             |
|----------|-------------|
| 1. あなた自身 | 2. あなた以外の家族 |
|----------|-------------|

問 26 下の a～g には、人生や仕事についての様々な状況があげてあります。それぞれについて、あなたにどの程度あてはまるか、最も近い番号1つに○をつけて下さい。

	かなりあてはまる	ある程度あてはまる	あまりあてはまらない	ほとんどあてはまらない
a これまでの進路選択は順調であった	1	2	3	4
b 自分の生活は、周囲の人からうまくいっていると思われる	1	2	3	4
c 将来の見通しは明るい	1	2	3	4
d 経済的に自立している	1	2	3	4
e 努力次第で将来は切り開けると思う	1	2	3	4
f 仕事以外に生きがいがある	1	2	3	4
g 現在の生活に満足している	1	2	3	4

問 27 これまで、ハローワークのほかに、次のような行政サービスや公的な支援を活用したことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

- |                                     |                 |         |                   |
|-------------------------------------|-----------------|---------|-------------------|
| 1. 奨学金                              | 2. 授業料免除・減免     | 3. 失業手当 | 4. 地域若者サポートステーション |
| 5. ジョブカフェ                           | 6. 国または自治体の職業訓練 | 7. 生活保護 |                   |
| 8. その他（具体的に： <input type="text"/> ） | 9. どれも活用したことはない |         |                   |

問 28 中退時や中退後の就職支援に対する要望について、自由にご記入下さい。

どうもありがとうございました。謝品をお送りしてもよい方は、住所シールに住所とお名前をご記入下さい。回答については、調査票（及び謝品をお送りしてもよい方は住所シールも）を返信用封筒に入れ、封をして、ポストにご投函ください。（調査票を入れて封をした返信用封筒を、調査票をお渡ししたハローワークにお渡しいただいても構いません）

---

JILPT 調査シリーズ No.138

大学等中退者の就労と意識に関する研究

発行年月日 2015年5月28日

編集・発行 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23

(照会先) 研究調整部研究調整課 TEL:03-5991-5104

印刷・製本 有限会社 太平印刷

---

©2015 JILPT Printed in Japan

\* 調査シリーズ全文はホームページで提供しております。(URL:<http://www.jil.go.jp/>)